

ソリッド フリーアドレス用デスクⅡ 基本+増連 組立説明書

RFTFT2-1012 (1014, 1212, 1214, 1412, 1414) WH(OA)-T, RFTFT2-W10 (12, 14) (AD) WH(BK)-CB, RFTFT(2)-(D) 12 (14) WH(BK)-L (ML)

■組立説明書は(1)～(3)の3種類ございます。下記をご参照頂き、適合する番号の組立説明書をご覧ください。

<p>3 ページへお進みください。</p> <p>(1) 基本 2 連(幅 2000, 2400, 2800mm)の場合</p>	<p>7 ページへお進みください。</p> <p>(2) 増連 3 連(幅 3000, 3600, 4200mm)以上に組み立てる場合</p>	<p>12 ページへお進みください。</p> <p>(3) 後日増連 後日(1)又は(2)に増連する場合</p>
--	---	--

基本部材

お買い上げありがとうございます。部品の個数を参照し、不足や不具合がないかをご確認ください。不足や不具合があった場合は配送いたします。電話にて部品名をお伝えください。

<p>梱包 1 RFTFT2-1012 (1014, 1212, 1214, 1412, 1414) WH(OA)-T</p> <p>①共通天板 × 4</p> <p>組み立てには梱包 1 を 2 梱包使用します。上記は 2 梱包分の数量です。</p> <p>W1000用の天板の場合、オニメナットの数異なります。</p>	<p>梱包 2 RFTFT2-D12 (14) WH(BK)-L</p> <p>②脚部 × 2</p> <p>アジャスター取付済</p>	<p>梱包 3 RFTFT(2)-12 (D14) WH(BK)-ML</p> <p>③中間脚 × 1</p> <p>アジャスター取付済</p>
---	--	--

RFTFT2-W10 (12, 14) WH(BK)-CB					
<p>④幕板 × 4</p> <p>W1000用の幕板の場合、カムロックの数異なります。</p>	<p>⑤フレーム × 1</p>	<p>⑥配線受け × 6</p> <p>※W1000天板の場合は × 4</p>	<p>⑦六角穴付き皿ねじ × 4</p> <p>(M6 × 16)</p> <p>16mm</p>	<p>⑧六角穴付き平ねじ × 12</p> <p>(M6 × 16)</p> <p>16mm</p>	<p>⑨⑩41ジョイントシャフト × 40</p> <p>※W1000天板の場合は × 36</p>

増連部材 (1台分)

幅 1000 (1200, 1400) mm を追加する毎に増連部材が必要となります。

<p>梱包 5 RFTFT2-1012 (1014, 1212, 1214, 1412, 1414) WH(OA)-T</p> <p>①共通天板 × 2</p> <p>梱包 1 と同じ部材です。</p> <p>W1000用の天板の場合、オニメナットの数異なります。</p>	<p>梱包 6 RFTFT(2)-12 (D14) WH(BK)-ML</p> <p>③中間脚 × 1</p> <p>梱包 3 と同じ部材です。</p> <p>アジャスター取付済</p>	<p>梱包 7 RFTFT2-W10 (12, 14) ADWH(BK)-CB</p> <p>梱包 4 と同じ部材です。数量のみが異なります。</p>	
		<p>④幕板 × 2</p>	<p>⑤フレーム × 1</p>
		<p>⑥配線受け × 3</p> <p>※W1000天板の場合は × 2</p>	<p>⑦六角穴付き皿ねじ × 4</p> <p>(M6 × 16)</p> <p>16mm</p>
		<p>⑧六角穴付き平ねじ × 12</p> <p>(M6 × 16)</p> <p>16mm</p>	<p>⑨⑩41ジョイントシャフト × 16</p> <p>※W1000天板の場合は × 14</p>

重要 ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法

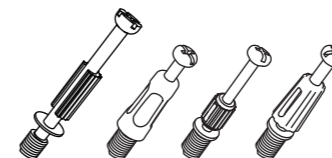
本商品には **ジョイントシャフト** と **カムロック** を使用して組み立てを行う工程がございます。以下の説明を最後までよくお読みのうえ、組み付けを行ってください。

1. ジョイントシャフトの取り付け

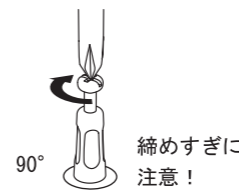
※商品に同梱されているジョイントシャフトの種類をご確認のうえ、下記に示す方法で取り付けを行ってください。

ジョイントシャフト

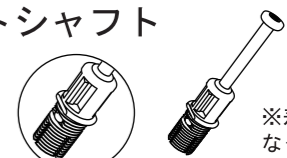
※商品によってジョイントシャフトの形状が異なる場合がありますが、使用上問題ございません。



ジョイントシャフトを板面の埋め込み(鬼目)ナットに回し入れます。手で回し入れたあと、プラスドライバーを使用して90度ほど増し締めしてください。

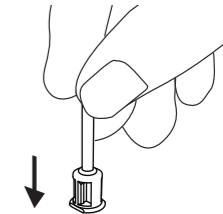
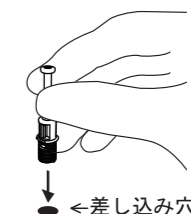


差込ジョイントシャフト



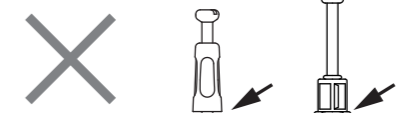
※差込部が樹脂製になっています。

ジョイントシャフトを指定の板面穴に差し込みます。隙間が無いように最後まで差し込んでください。



適切な取り付け

ボルト部分のみが完全に隠れるように回し入れてください。



最後まで入っていない

抜けや歪みの原因となります。



締めすぎ・差し込みすぎ

ジョイントシャフトや埋め込みナットが破損する恐れがあります。

2. ジョイントシャフトの挿入

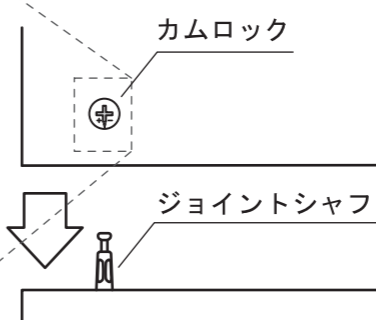
板面に取り付けられているカムロックに、ジョイントシャフトを差し込みます。

カムロックには+又は▲矢印もしくはその両方が刻印されています。



この印をジョイントシャフト側に向けて差し込んでください。

取り付ける板面を平行に持ち、垂直に真っ直ぐ差し込みます。



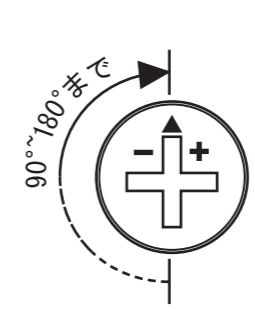
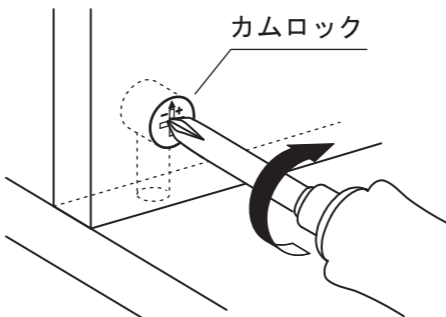
適切な差し込み



隙間が空いている正常に固定できません。

3. ジョイントシャフトとカムロックの固定

プラスドライバーを使用し、カムロックを時計回りに回転させます。回し始めから90°～180°程度で、カムロックがジョイントシャフトとかみ合って固定されます。



正常な締め付け



締めすぎ
無理に回すと破損の原因となります

(1) 基本 2連(幅 2000,2400,2800mm)の場合

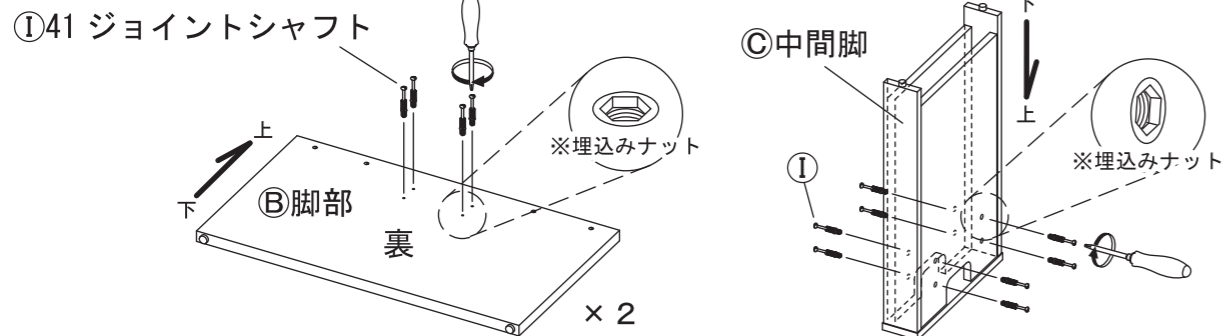
組立の目安
30分

組立前の注意

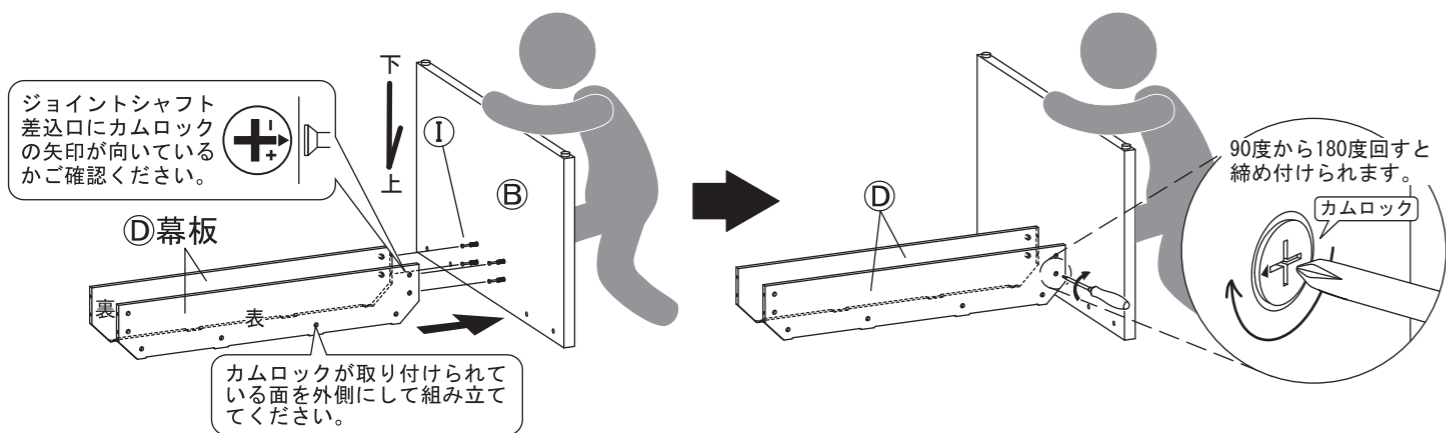
設置場所で組み立ててください。組み立て後に移動させる際は、天板1枚あたり1人以上で持ち、慎重にゆっくりと移動させてください。

- ▲二人以上で組み立ててください。
- ▲床や壁を傷つけないよう、段ボールまたは布の上で組み立ててください。
- ▲電動ドライバーを使用しないでください。

1 ⑧脚部・⑨中間脚に①41 ジョイントシャフトを回し入れてください。
※ジョイントシャフト取り付け部分には、ナットが埋め込まれています。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



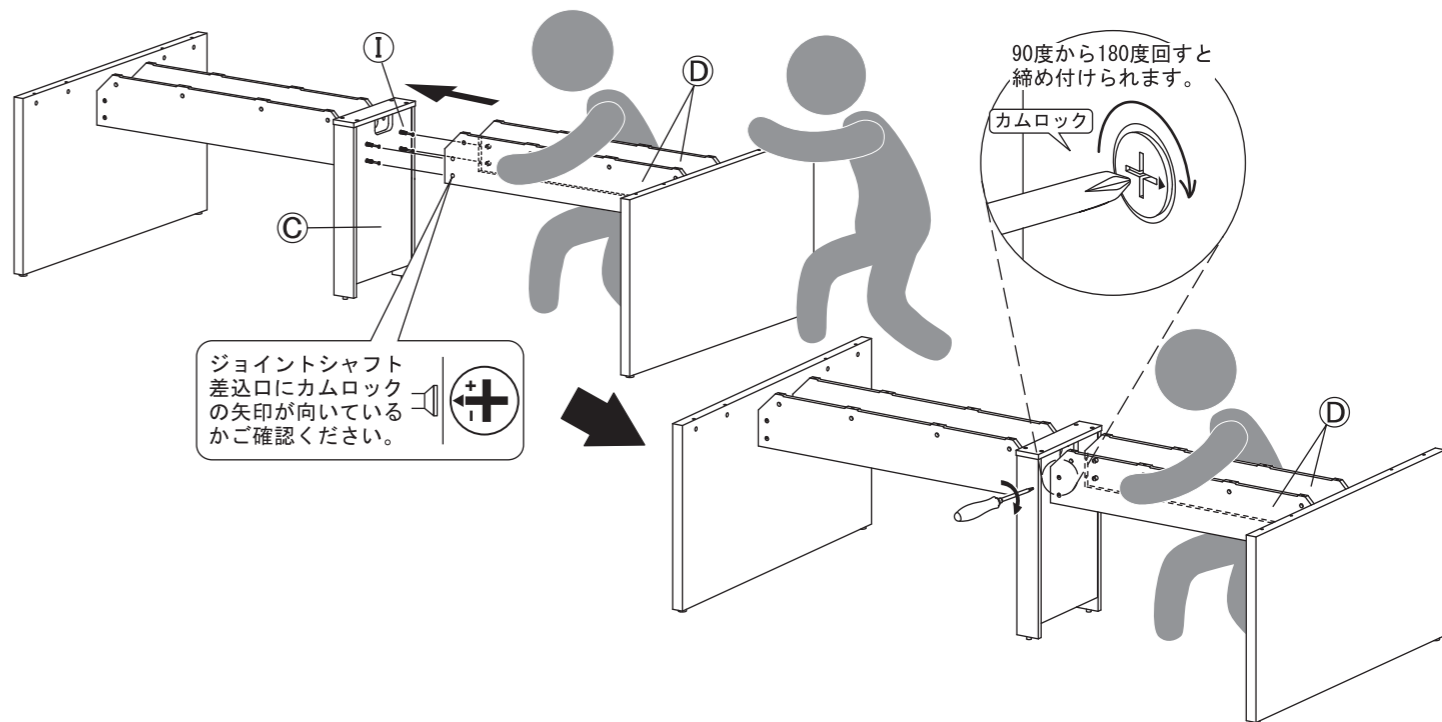
2 **1** で組み付けた⑧脚部の①41 ジョイントシャフトを、⑩幕板の横穴に差し込みます。その後、⑩幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
この作業は、必ず1人以上が⑧脚部を支えながら行ってください。



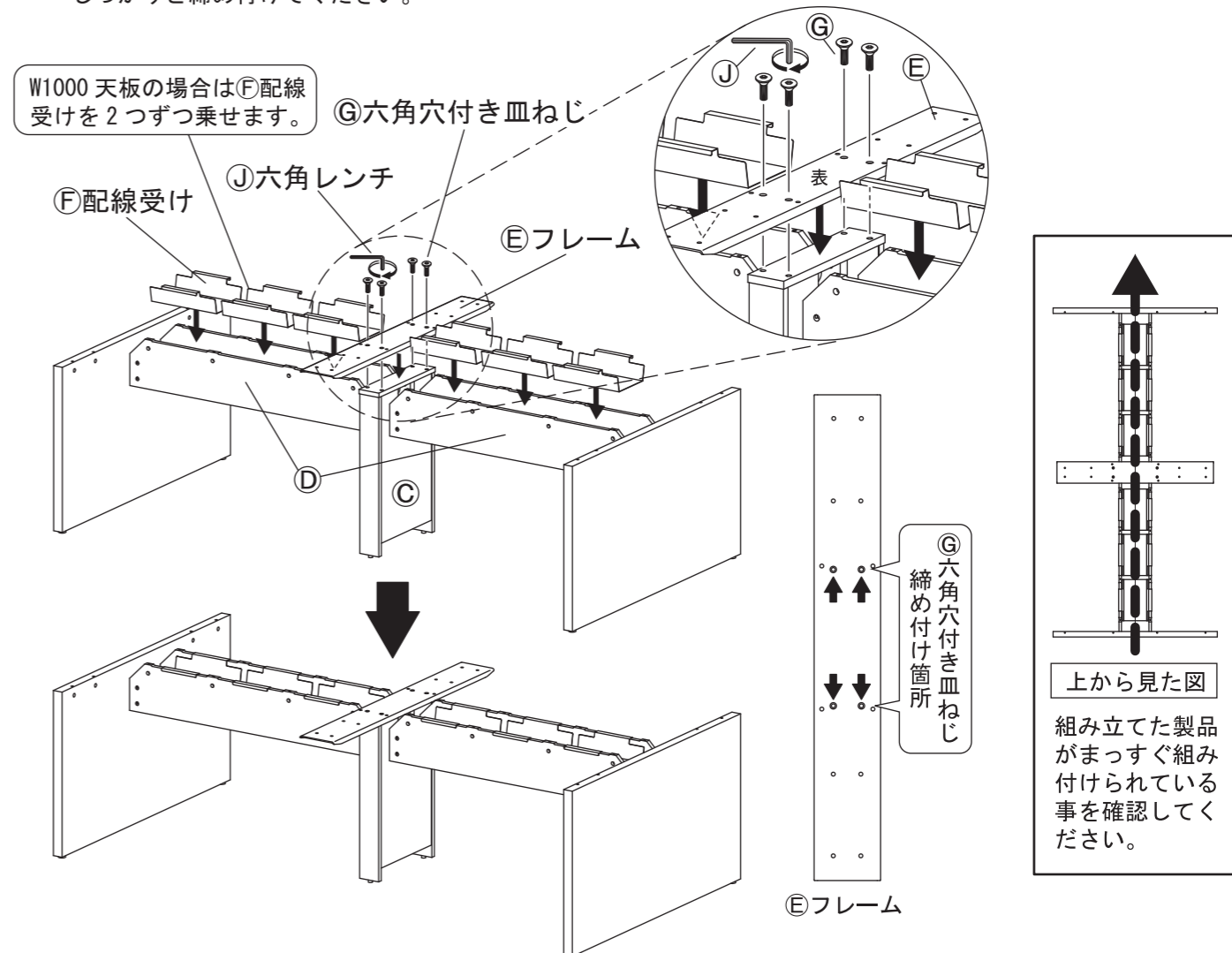
3 **2** で組み付けた⑧脚部・⑩幕板を二人以上で慎重に起こし、**1** で組み付けた⑨中間脚の①41 ジョイントシャフトを、⑩幕板の横穴に差し込みます。その後、⑩幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
この作業は、必ず1人以上が⑩幕板を支えながら行ってください。



4 **2** の組み立てをもう一組行い、③中間脚の①41 ジョイントシャフト(③と反対側)を⑩幕板の横穴に差し込みます。その後、⑩幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
この作業は、必ず1人以上が⑩幕板を支えながら行ってください。

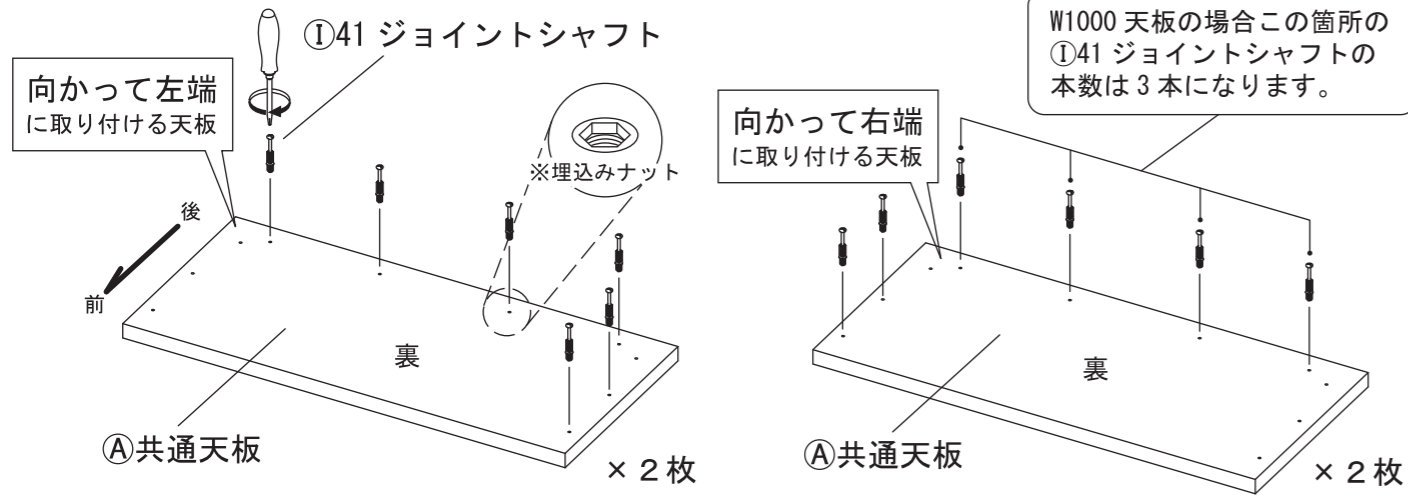


5 ⑩幕板に⑪配線受けを乗せます。その後、③中間脚の上に⑫フレームを二人以上で慎重に乗せ、⑬六角レンチを使って⑭六角穴付き皿ねじをしっかりと締め付けてください。



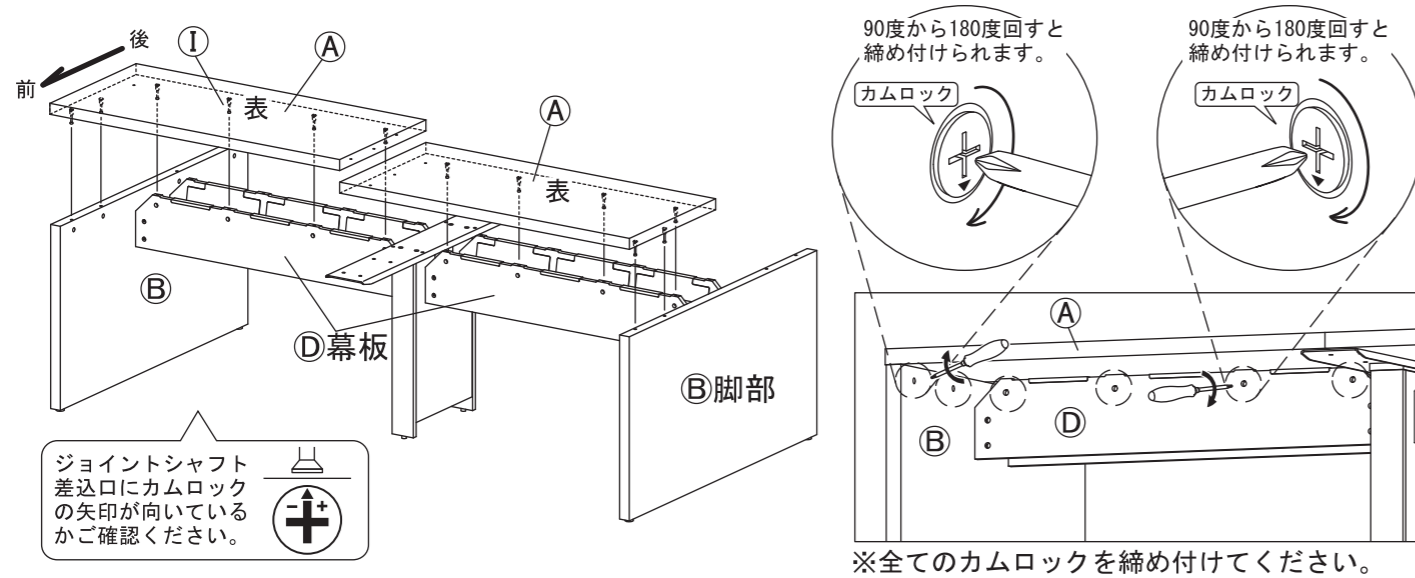
6

①共通天板に①41 ジョイントシャフトを回し入れてください。
※ジョイントシャフト取り付け部分には、ナットが埋め込まれています。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



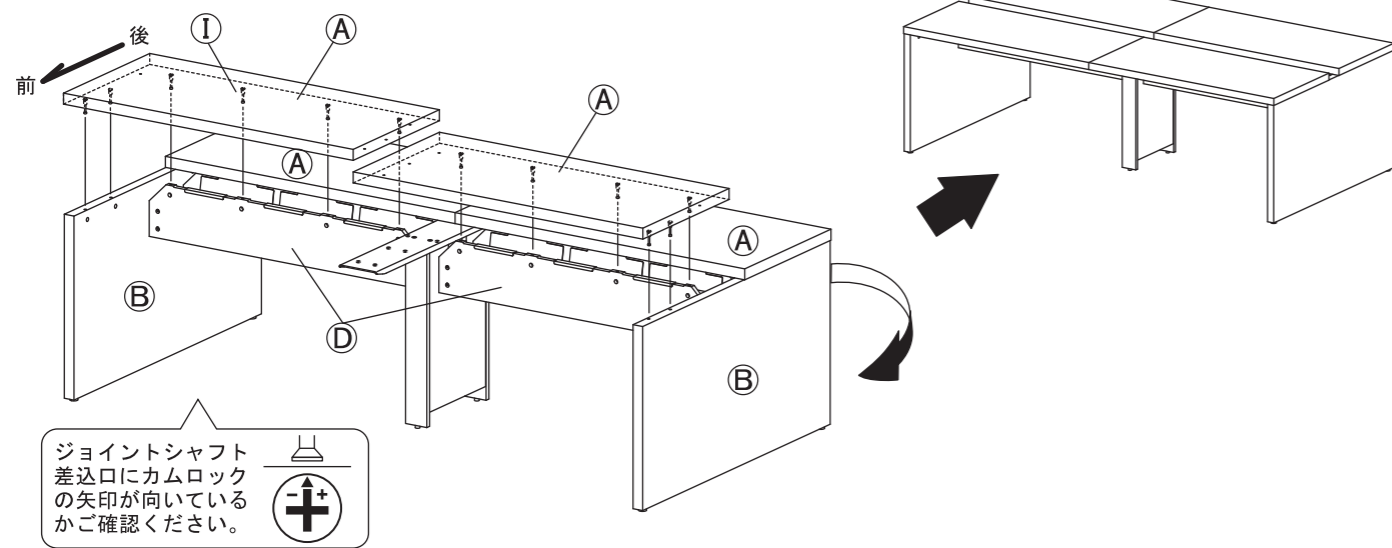
7

⑤で組み付けた部材に天板を取り付けます。
①共通天板を1枚ずつ二人以上で慎重に持ち上げ、取り付けした①41 ジョイントシャフトを②脚部・④幕板の横穴に差し込んでください。その後、②脚部・④幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



ジョイントシャフト差込口にカムロックの矢印が向いているかご確認ください。

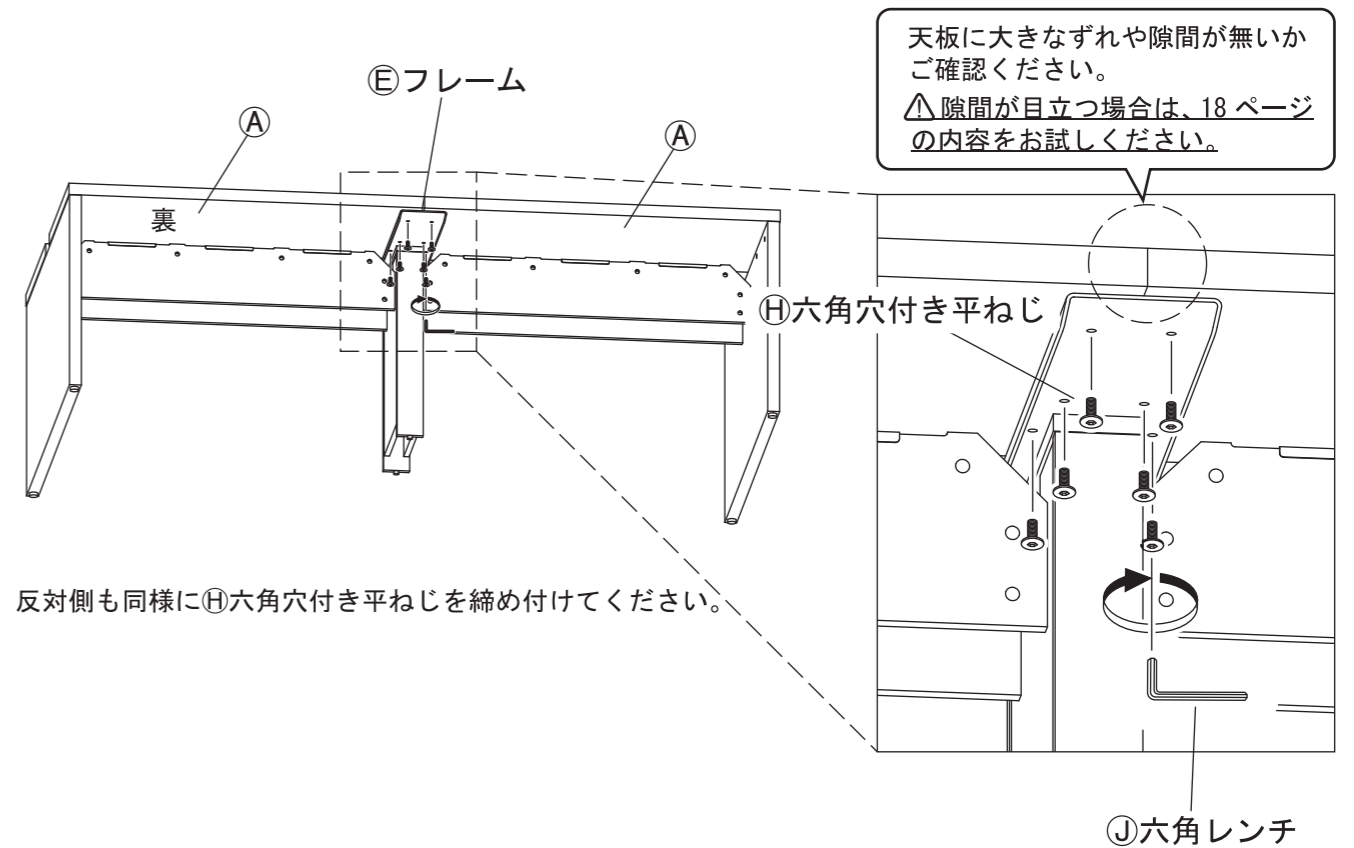
反対側も同様に①共通天板を取り付けてください。



ジョイントシャフト差込口にカムロックの矢印が向いているかご確認ください。

8

①共通天板と⑤フレームを固定します。
①共通天板の裏側から、⑥六角レンチを使って⑧六角穴付き平ねじを締め付けてください。



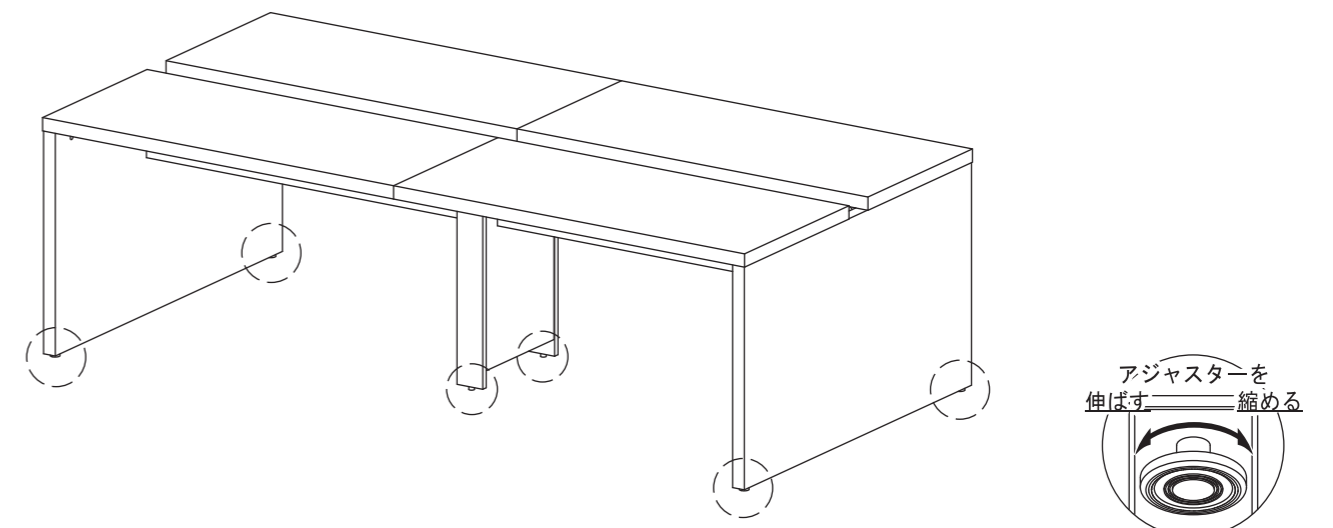
反対側も同様に⑧六角穴付き平ねじを締め付けてください。

⚠ 部材を落としてケガをしないよう十分注意してください。

※ねじは定期的には増し締めを行なってください。

9

①共通天板が床と水平になるよう、アジャスターを回して調整してください。



※組み立て後に移動させる際は、全てのねじ・カムロックが正しく締め付けられている事を確認し天板1枚あたり1人以上で持ち、慎重にゆっくりと移動させてください。

床に接地していないアジャスターを回して水平になるように調整し、がたつかないようにしてください。

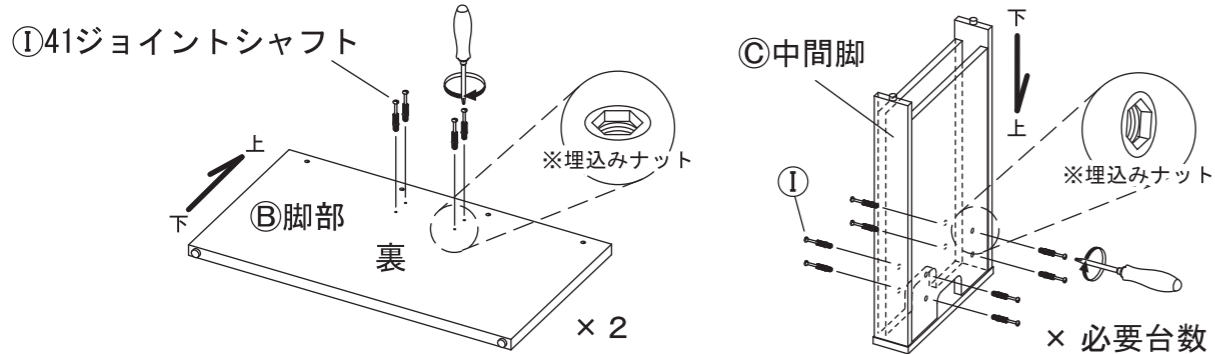
(2) 増連 3連(幅3000,3600,4200mm)以上に組み立てる場合  組立の目安 40分~

基本部材 と 増連部材 の必要台数分を使用します。

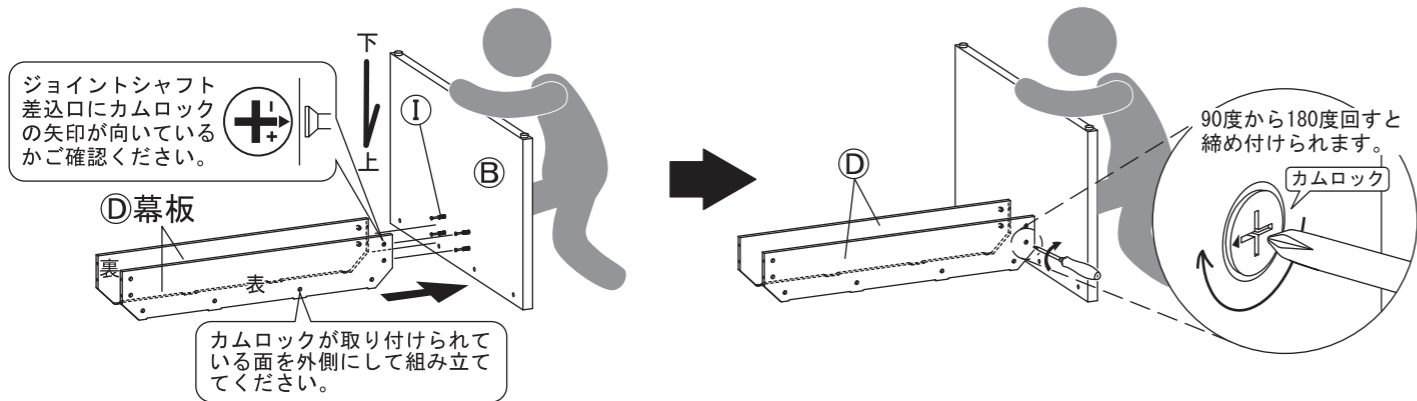
組立前の注意
 設置場所で組み立ててください。組み立て後に移動させる際は、天板1枚あたり1人以上で持ち、慎重にゆっくりと移動させてください。

- ▲二人以上で組み立ててください。
- ▲床や壁を傷つけないよう、段ボールまたは布の上で組み立ててください。
- ▲電動ドライバーを使用しないでください。

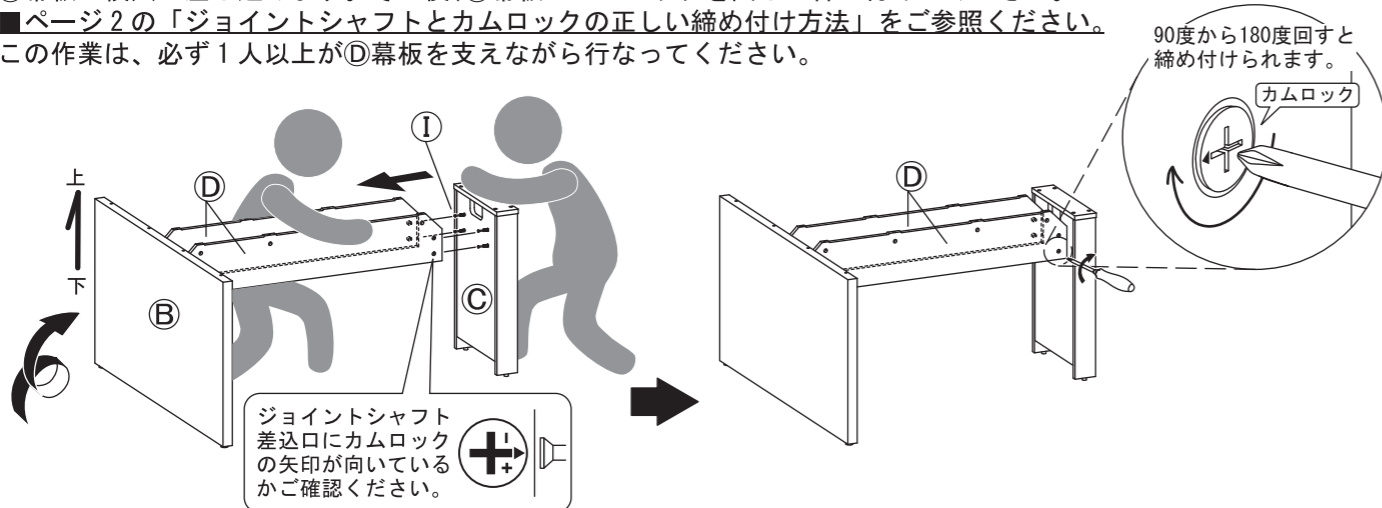
1 脚部・C中間脚にI41ジョイントシャフトを回し入れてください。
 ※ジョイントシャフト取り付け部分には、ナットが埋め込まれています。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



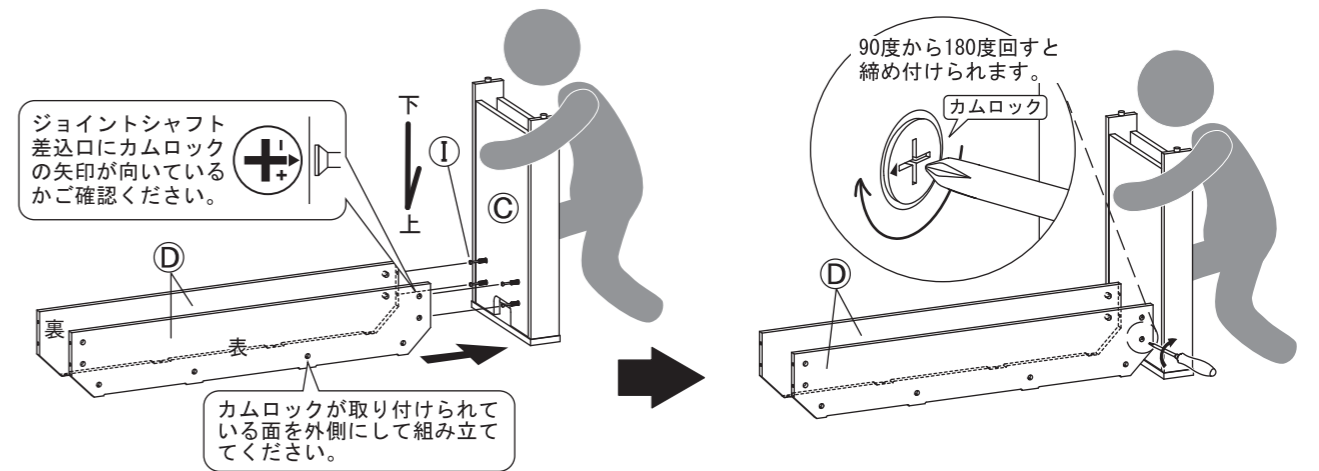
2 1で組み付けた脚部のI41ジョイントシャフトを、D幕板の横穴に差し込みます。その後、D幕板のカムロックを回して締め付けてください。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
 この作業は、必ず1人以上が脚部を支えながら行ってください。



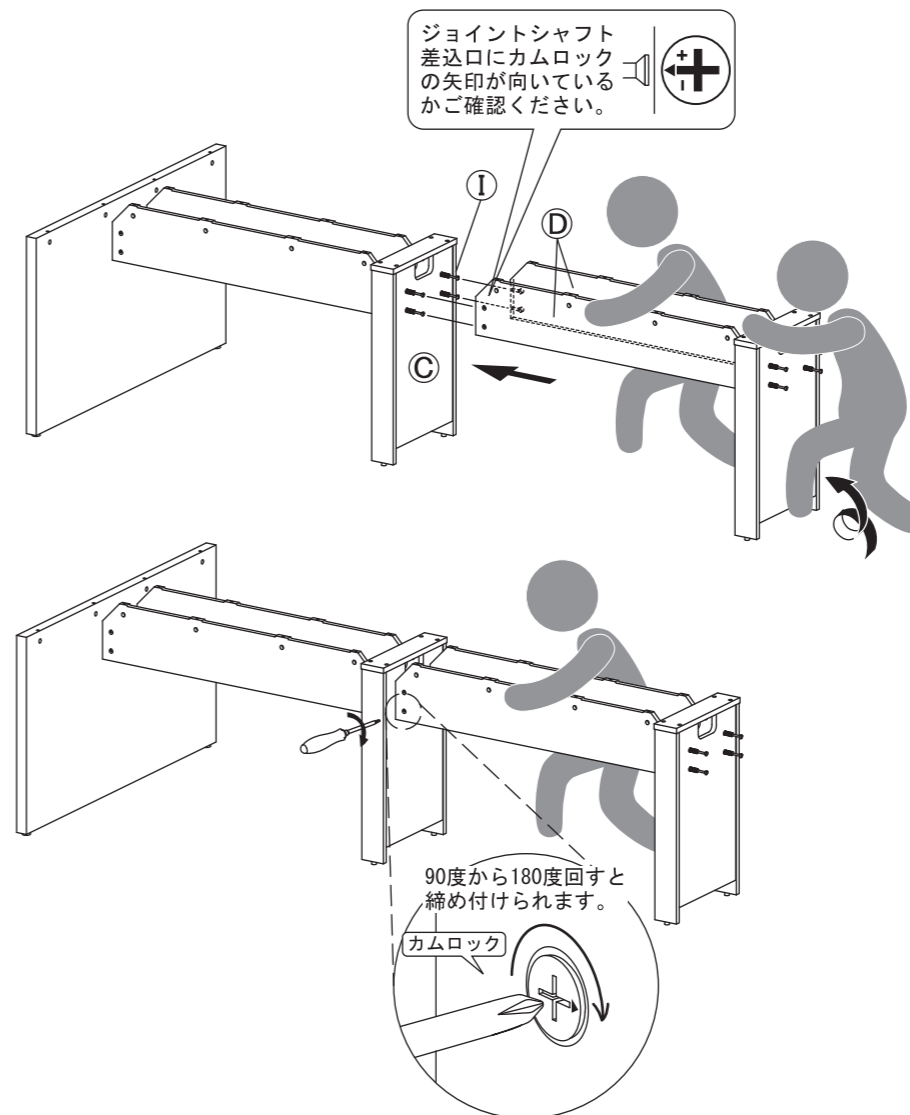
3 2で組み付けた脚部・D幕板を二人以上で慎重に起こし、1で組み付けたC中間脚のI41ジョイントシャフトを、D幕板の横穴に差し込みます。その後、D幕板のカムロックを回して締め付けてください。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
 この作業は、必ず1人以上がD幕板を支えながら行ってください。



4 1で組み付けた3とは別のC中間脚とD幕板を用意します。
 C中間脚のI41ジョイントシャフトをD幕板の横穴に差し込みます。その後、D幕板のカムロックを回して締め付けてください。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
 この作業は、必ず1人以上がC中間脚を支えながら行ってください。



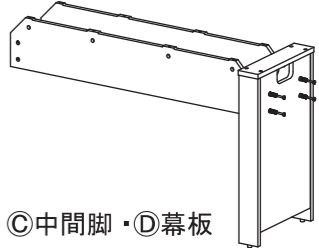
5 4で組み立てたC中間脚・D幕板を二人以上で慎重に起こし、3で組み立てたC中間脚のI41ジョイントシャフトを、D幕板の横穴に差し込みます。その後、D幕板のカムロックを回して締め付けてください。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
 この作業は、必ず1人以上がD幕板を支えながら行ってください。



組立上の注意

この工程で組み立てるC中間脚・D幕板の連結台数は完成予定のデスクの幅によって異なります。デスクの幅に応じて45の工程を繰り返してください。

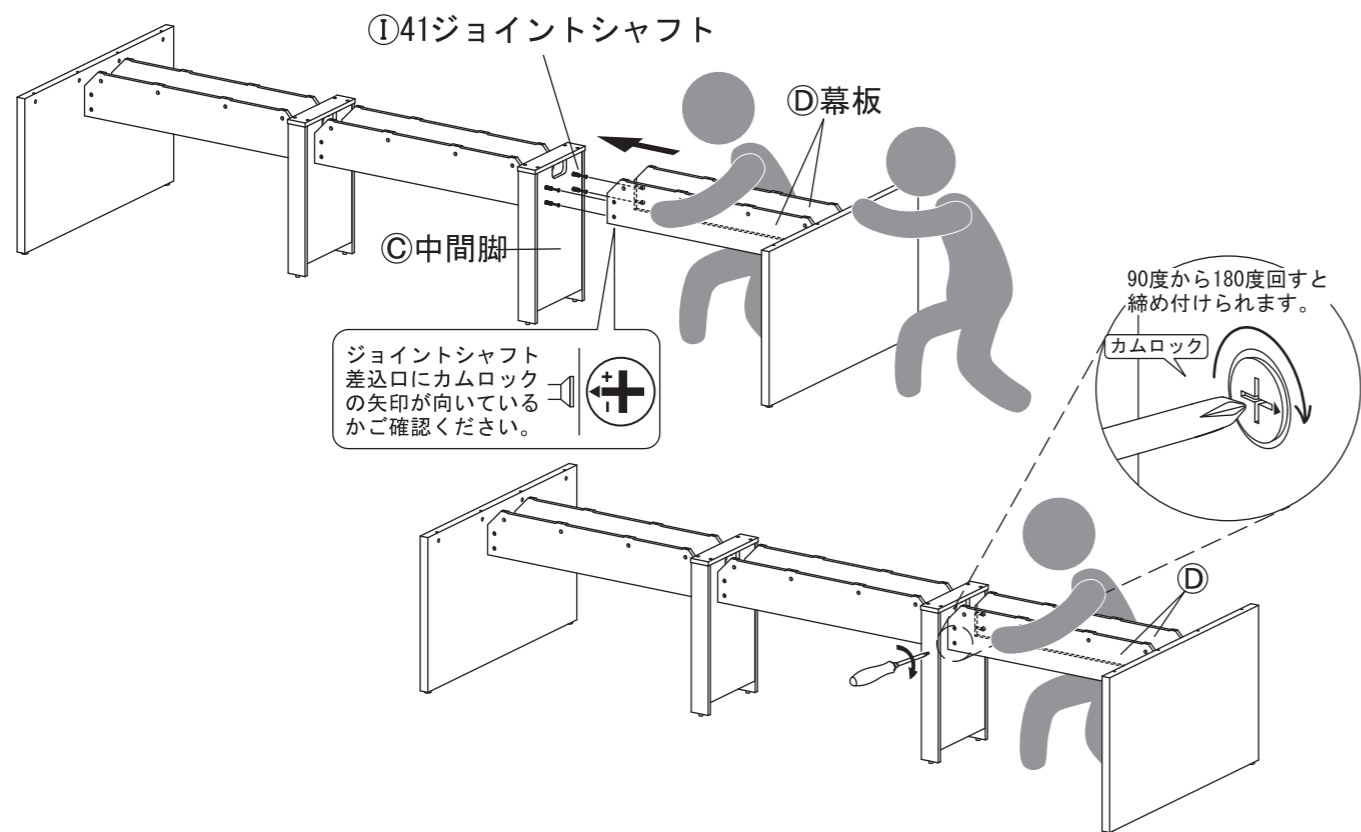
デスク幅	4の必要台数
3連 W3000/3600/4200	1台
4連 W4000/4800/5600	2台
5連 W5000/6000/7000	3台
6連 W6000/7200/8400	4台



C中間脚・D幕板

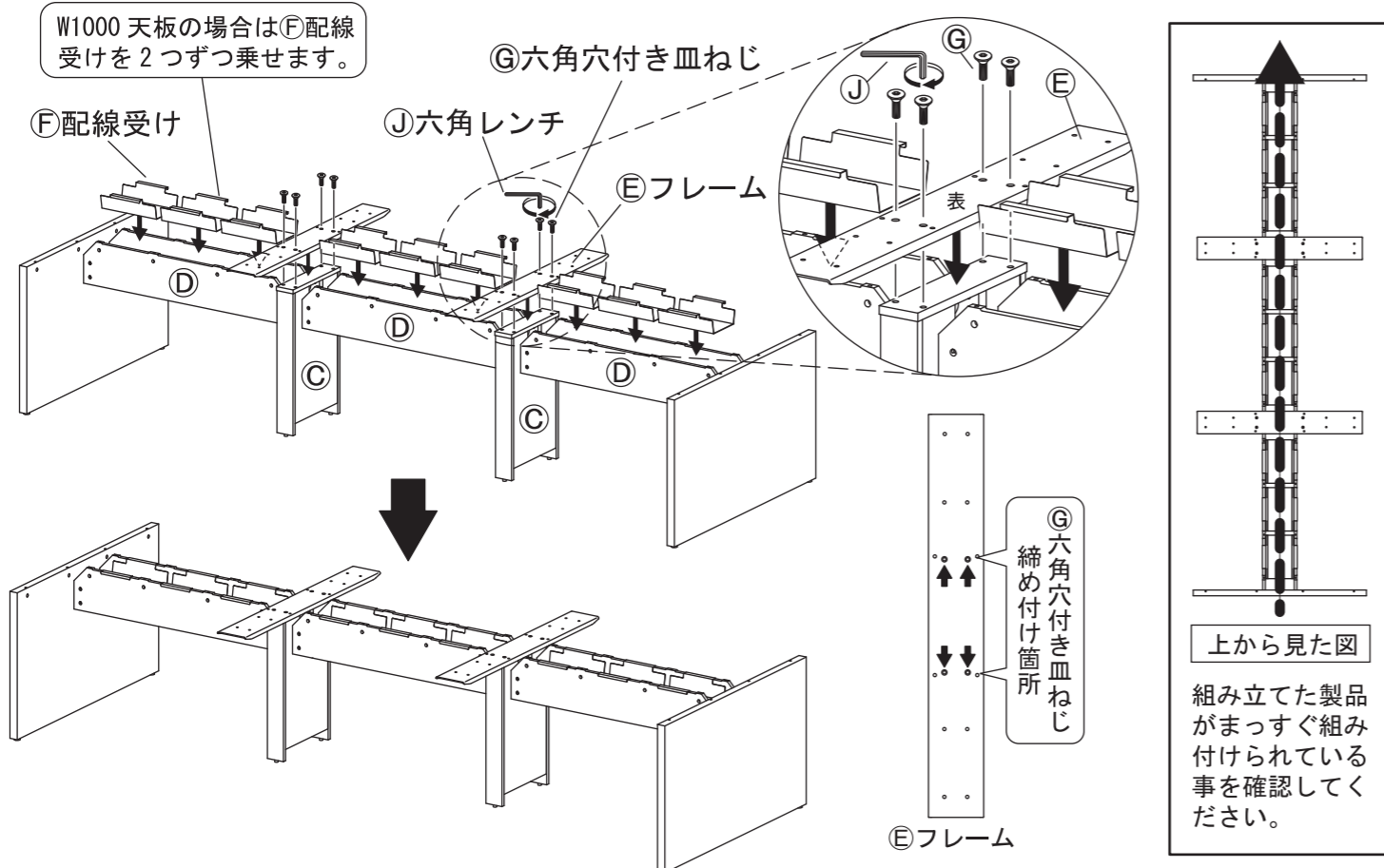
6

2の組み立てをもう一組行い、C中間脚の①41ジョイントシャフトをD幕板の横穴に差し込みます。その後、D幕板のカムロックを回して締め付けてください。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
 この作業は、必ず1人以上がD幕板を支えながら行ってください。



7

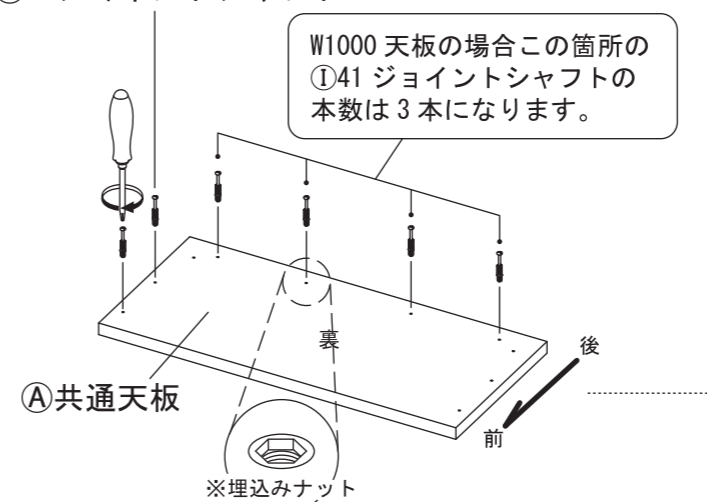
D幕板にF配線受けを乗せます。その後、C中間脚の上にEフレームを二人以上で慎重に乗せ、J六角レンチを使ってG六角穴付き皿ねじをしっかりと締め付けてください。



8

A共通天板に①41ジョイントシャフトを回し入れてください。
 ※ジョイントシャフト取り付け部分には、ナットが埋め込まれています。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。

①41ジョイントシャフト

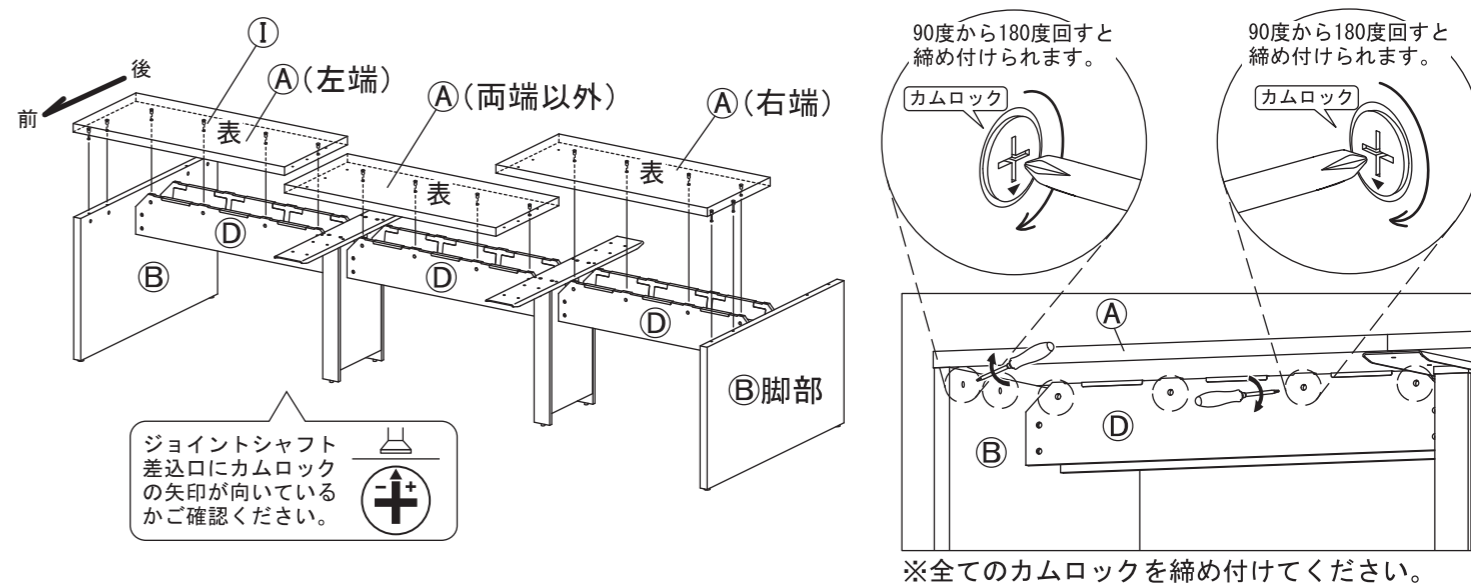


天板への41ジョイントシャフト取り付け位置

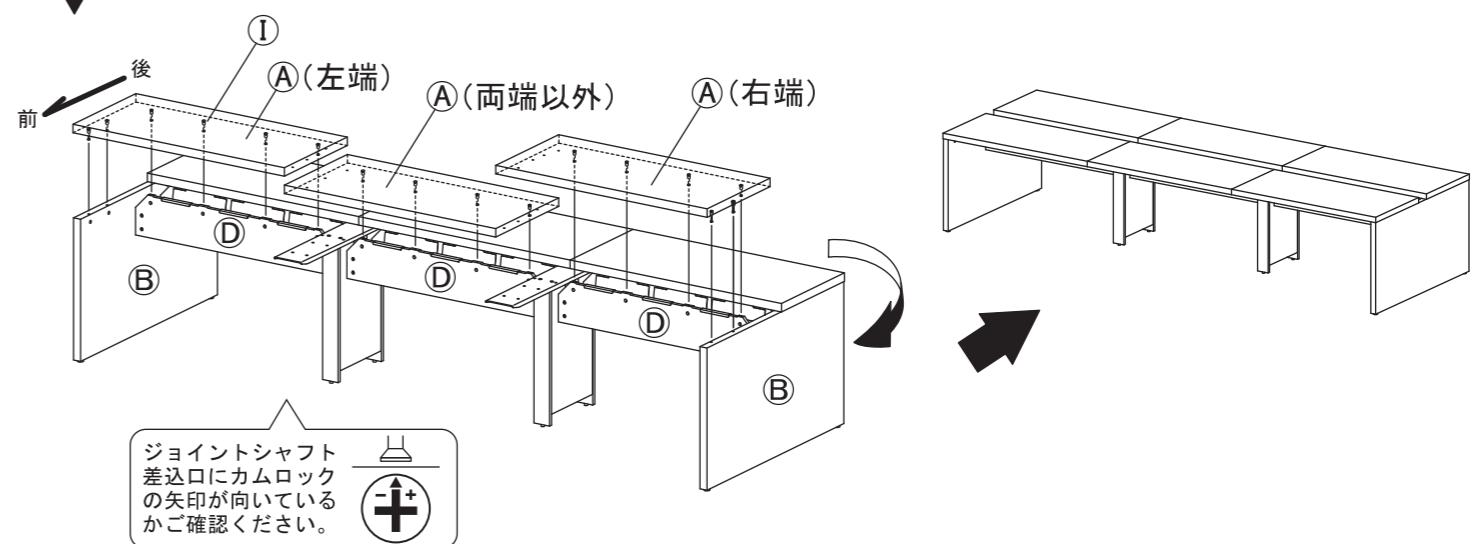
向かって右端 に取り付ける天板	× 2枚
向かって左端 に取り付ける天板	× 2枚
両端以外 に取り付ける天板	× 必要枚数

9

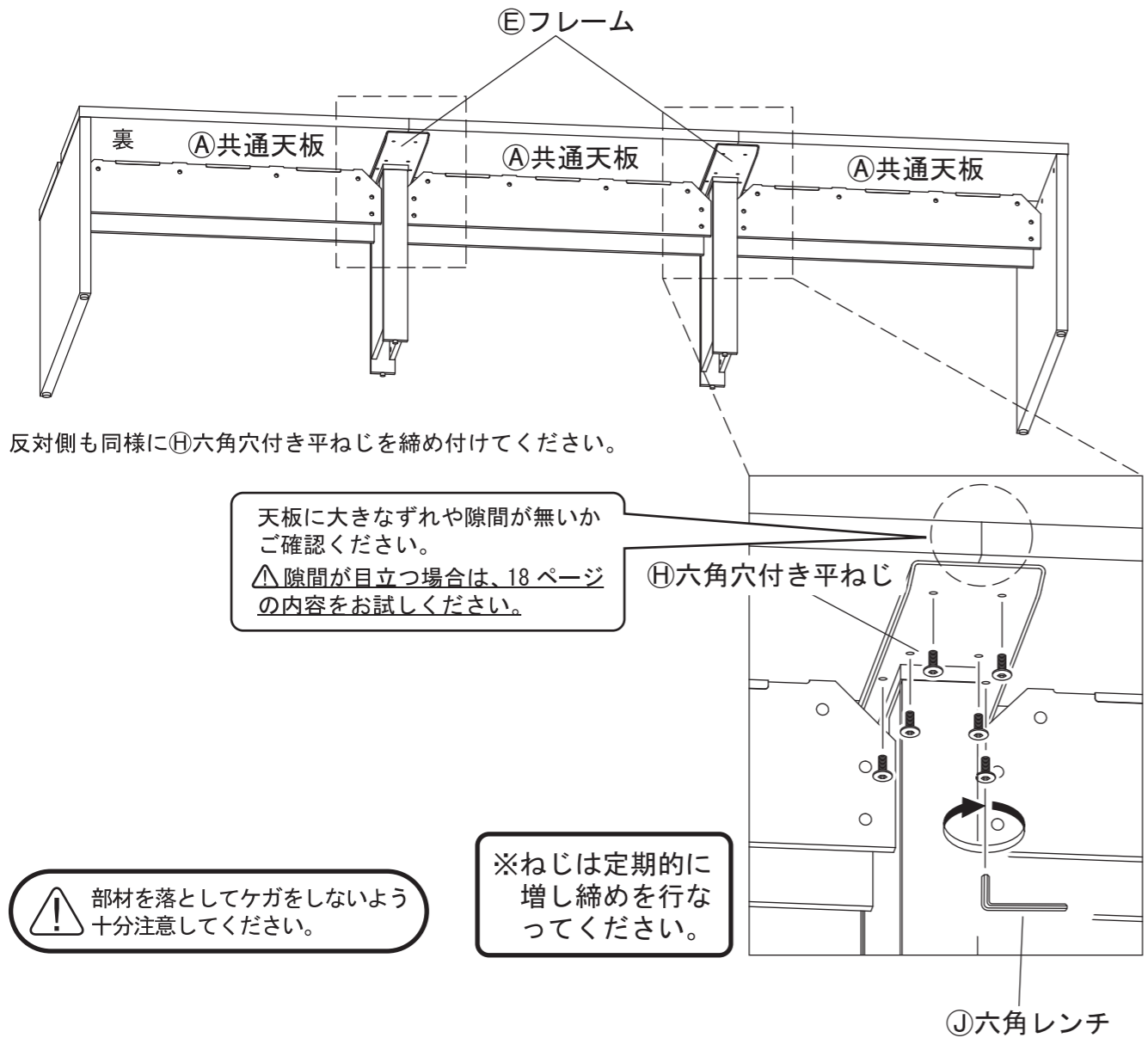
7で組み付けた部材に天板を取り付けます。
 A共通天板を1枚ずつ二人以上で慎重に持ち上げ、取り付けした①41ジョイントシャフトをB脚部・D幕板の横穴に差し込んでください。その後、B脚部・D幕板のカムロックを回して締め付けてください。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



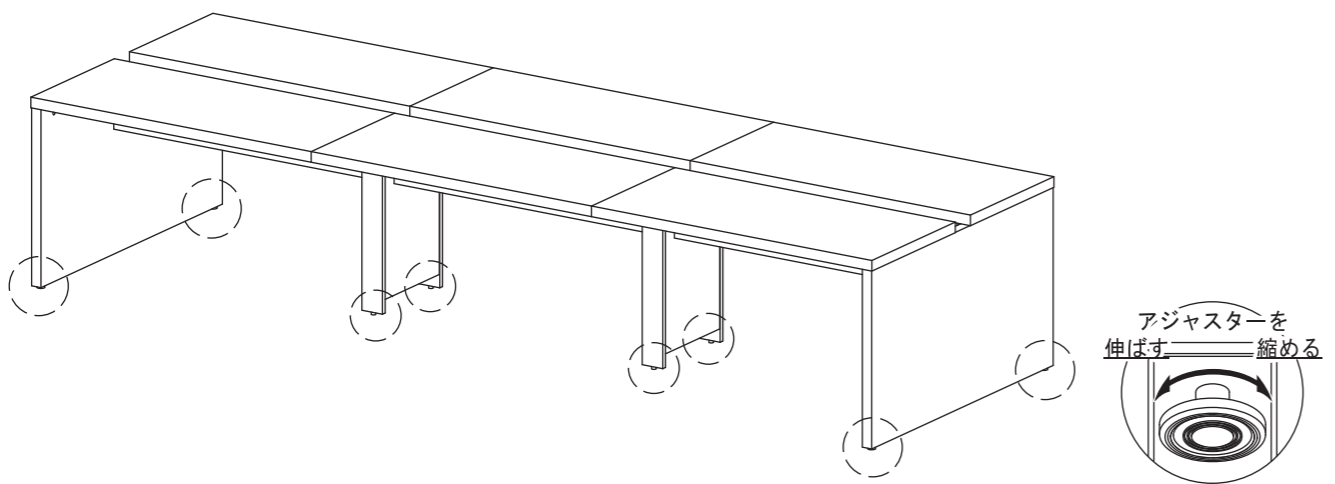
反対側も同様にA共通天板を取り付けてください。



10 ①共通天板と②フレームを固定します。
 ①共通天板の裏側から、③六角レンチを使って④六角穴付き平ねじを締め付けてください。



10 ①共通天板が床と水平になるよう、アジャスターを回して調整してください。



組み立て後に移動させる際は、全てのねじ・カムロックが正しく締め付けられている事を確認し天板1枚あたり1人以上で持ち、慎重にゆっくりと移動させてください。

床に接地していないアジャスターを回して水平になるように調整し、がたつかないようにしてください。

(3) 後日増連 後日 (1) 又は (2) に増連する場合

組立の目安
40分～

増連部材の必要台数分を使用します。

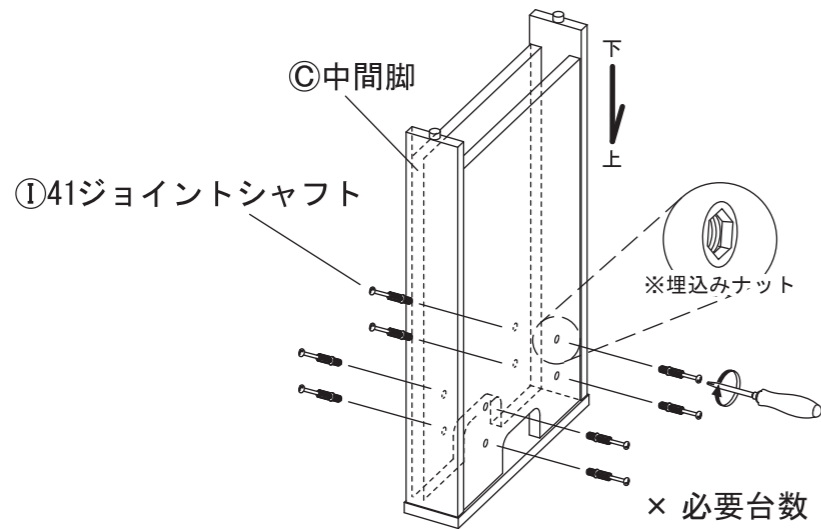


組立前の注意

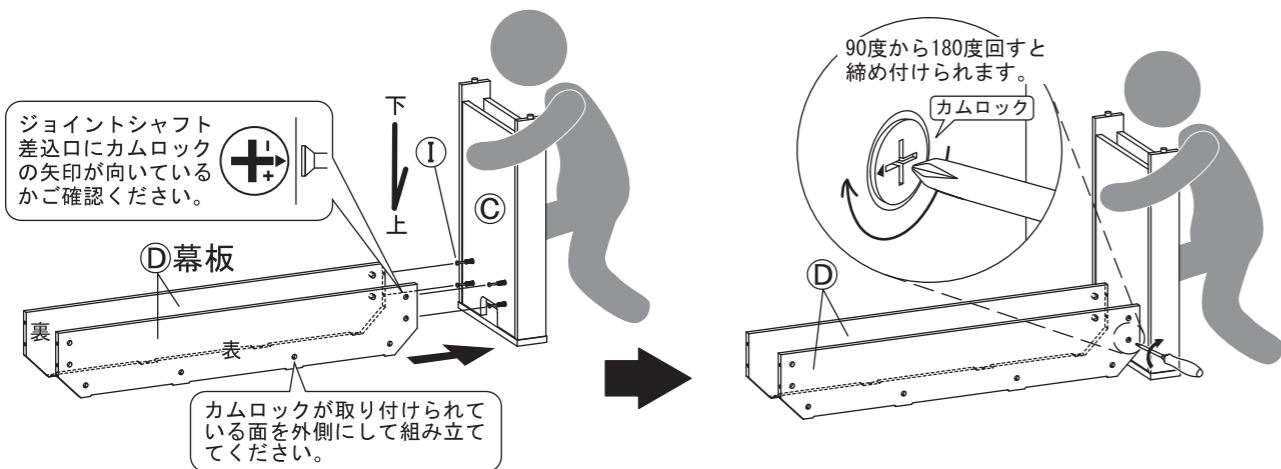
設置場所で組み立ててください。組み立て後に移動させる際は、天板1枚あたり1人以上で持ち、慎重にゆっくりと移動させてください。

- ▲二人以上で組み立ててください。
- ▲床や壁を傷つけないよう、段ボールまたは布の上で組み立ててください。
- ▲電動ドライバーを使用しないでください。

- 1 ③中間脚に①41ジョイントシャフトを回し入れてください。
※ジョイントシャフト取り付け部分には、ナットが埋め込まれています。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。

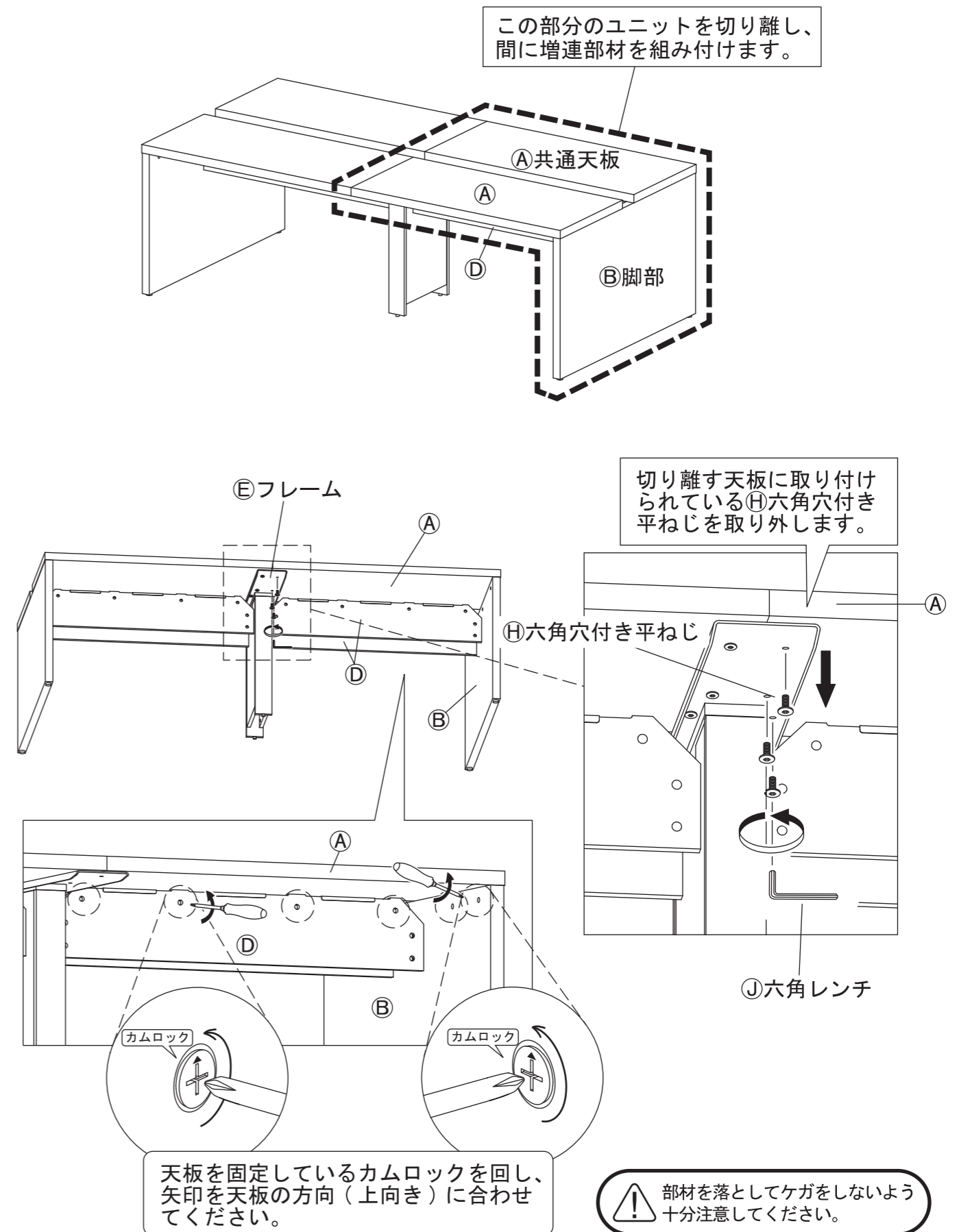


- 2 1で組み付けた③中間脚の①41ジョイントシャフトを④幕板の横穴に差し込みます。その後、④幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
この作業は、必ず1人以上が③中間脚を支えながら行ってください。



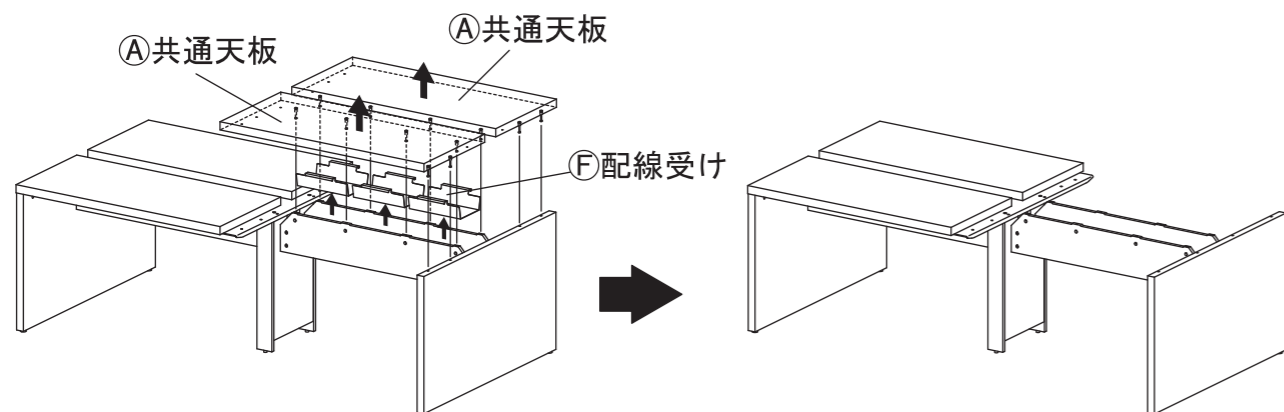
この工程を増連台数分行ってください。

- 3 増連部材を組み付ける為に、組み立て済みの製品を分解します。
⑤フレームに取り付けられている⑥六角穴付き平ねじを⑦六角レンチを使って取り外します。その後、⑧幕板・⑨脚部に取り付けられているカムロックを回して緩めてください。

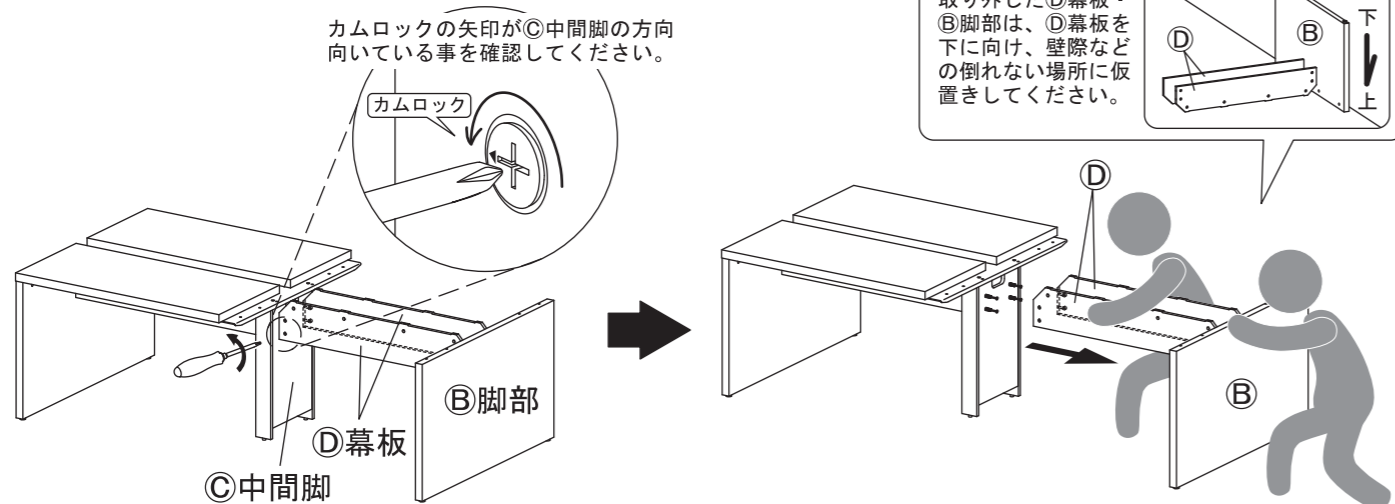


※対面側も同様の作業を行ってください。

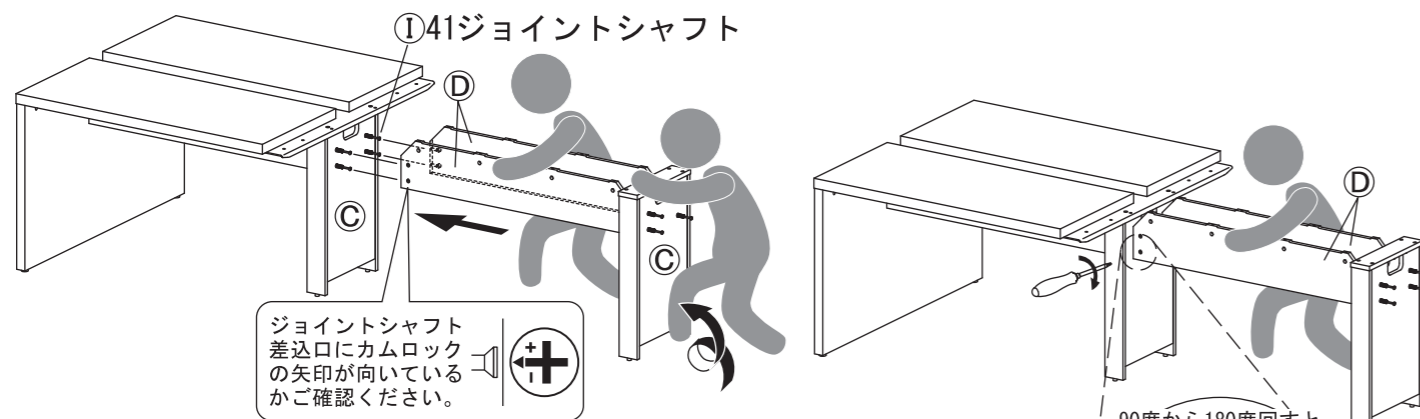
4 ④共通天板・⑤配線受けを取り外します。
④共通天板は1枚ずつ二人以上で慎重に持ち上げて取り外してください。



5 ⑩幕板に取り付けられている③中間脚側のカムロックを回して緩めてください。
その後、⑩幕板・⑧脚部を二人以上で慎重に取り外してください。
この作業は、必ず1人以上が⑩幕板を支えながら行ってください。



6 2で組み立てた③中間脚・⑩幕板を二人以上で慎重に起こし、③中間脚の①41ジョイントシャフトを、⑩幕板の横穴に差し込みます。
その後、⑩幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
この作業は、必ず1人以上が⑩幕板を支えながら行ってください。

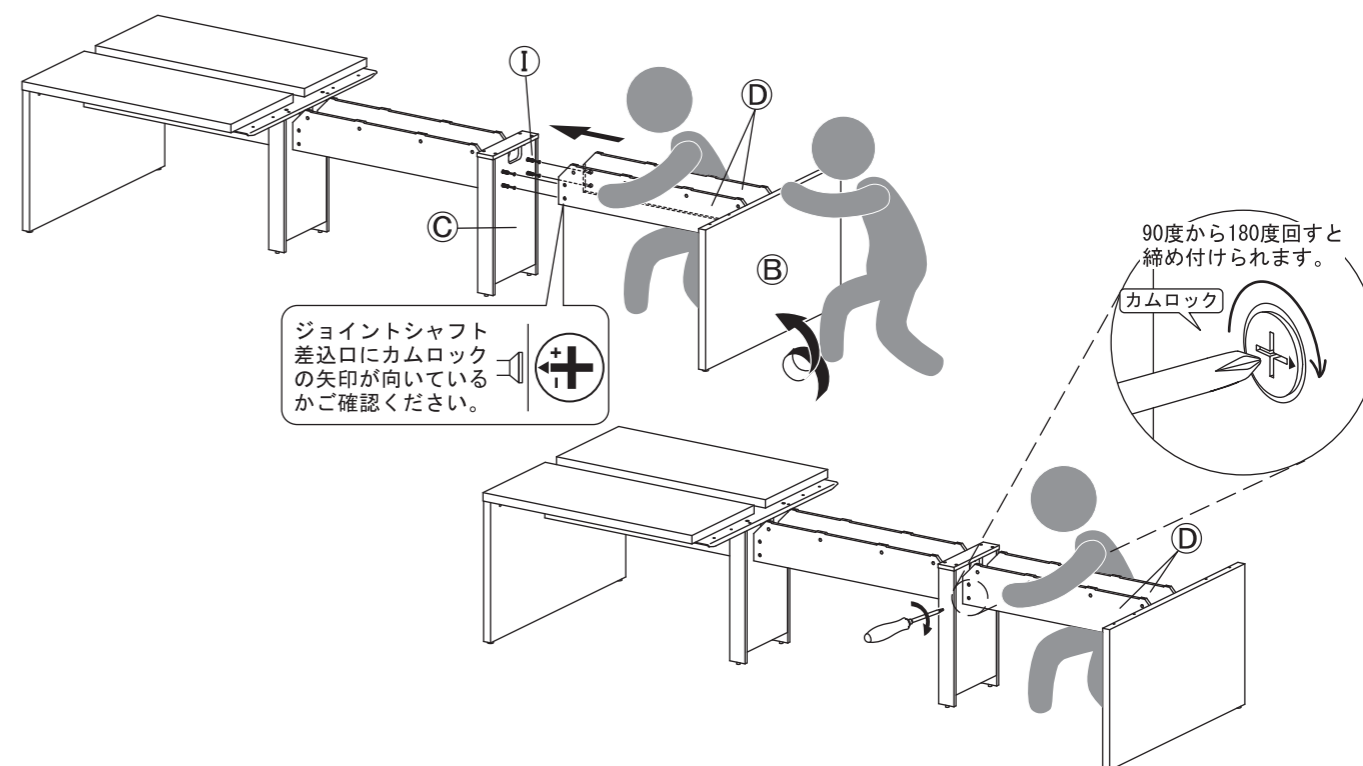


組立上の注意

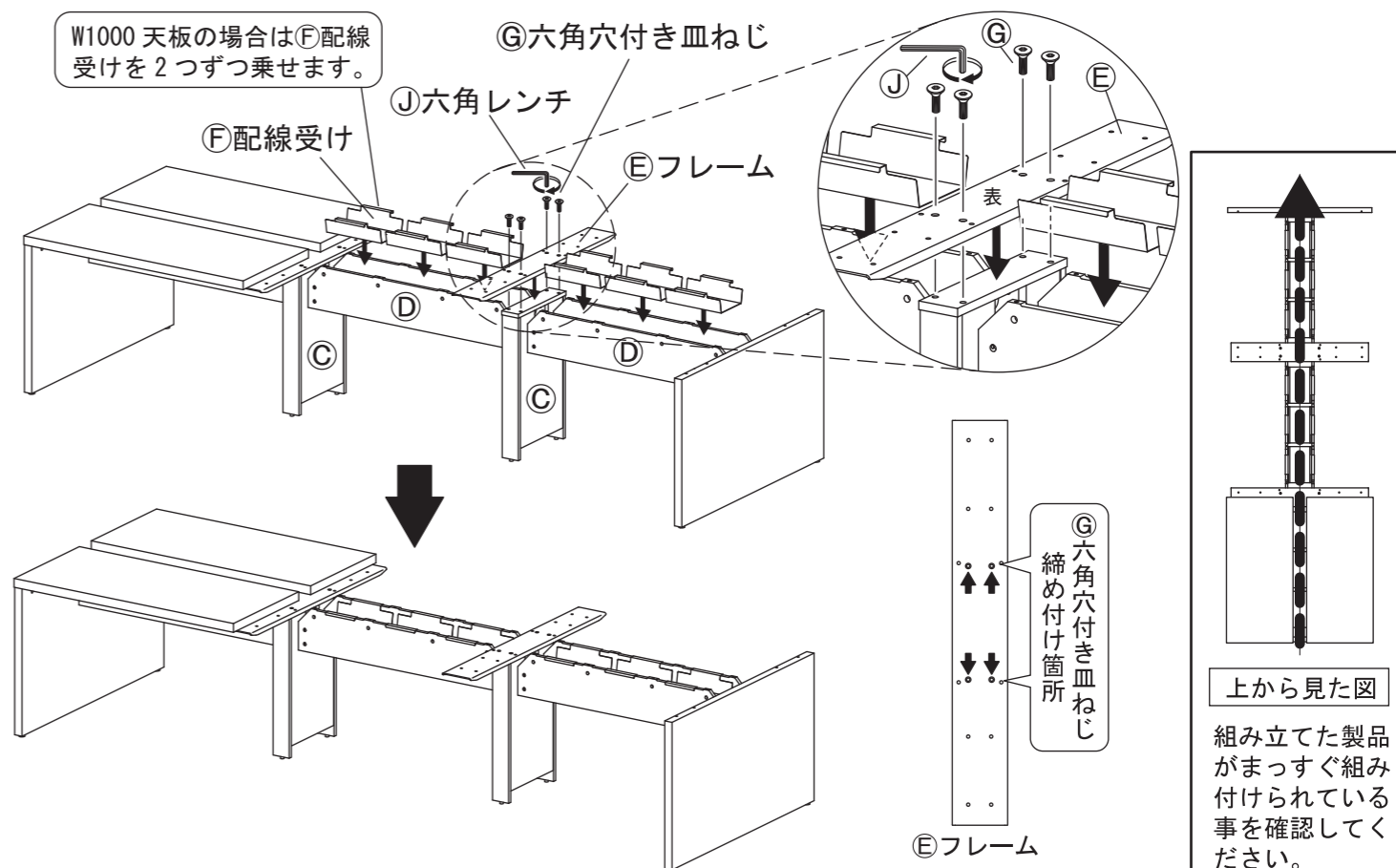
この工程で組み立てる③中間脚・⑩幕板の連結台数は増連予定のデスクの幅によって異なります。増連に応じて26の工程を繰り返し行ってください。

増連数	2の必要台数
1連 W1000/1200/1400 ...	1台
2連 W2000/2400/2800 ...	2台
3連 W3000/3600/4200 ...	3台
4連 W4000/4800/5600 ...	4台

7 5で取り外した⑧脚部・⑩幕板を二人以上で慎重に起こし、③中間脚の①41ジョイントシャフトを⑩幕板の横穴に差し込みます。
その後、⑩幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
この作業は、必ず1人以上が⑩幕板を支えながら行ってください。



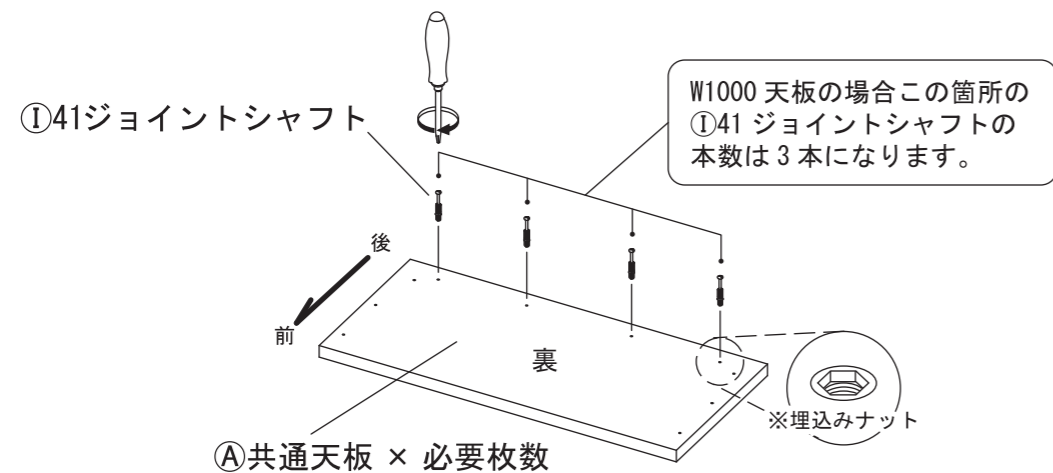
8 ⑩幕板に⑤配線受けを乗せます。
その後、③中間脚の上に⑥フレームを二人以上で慎重に乗せ、④六角レンチを使って⑥六角穴付き皿ねじをしかりと締め付けてください。



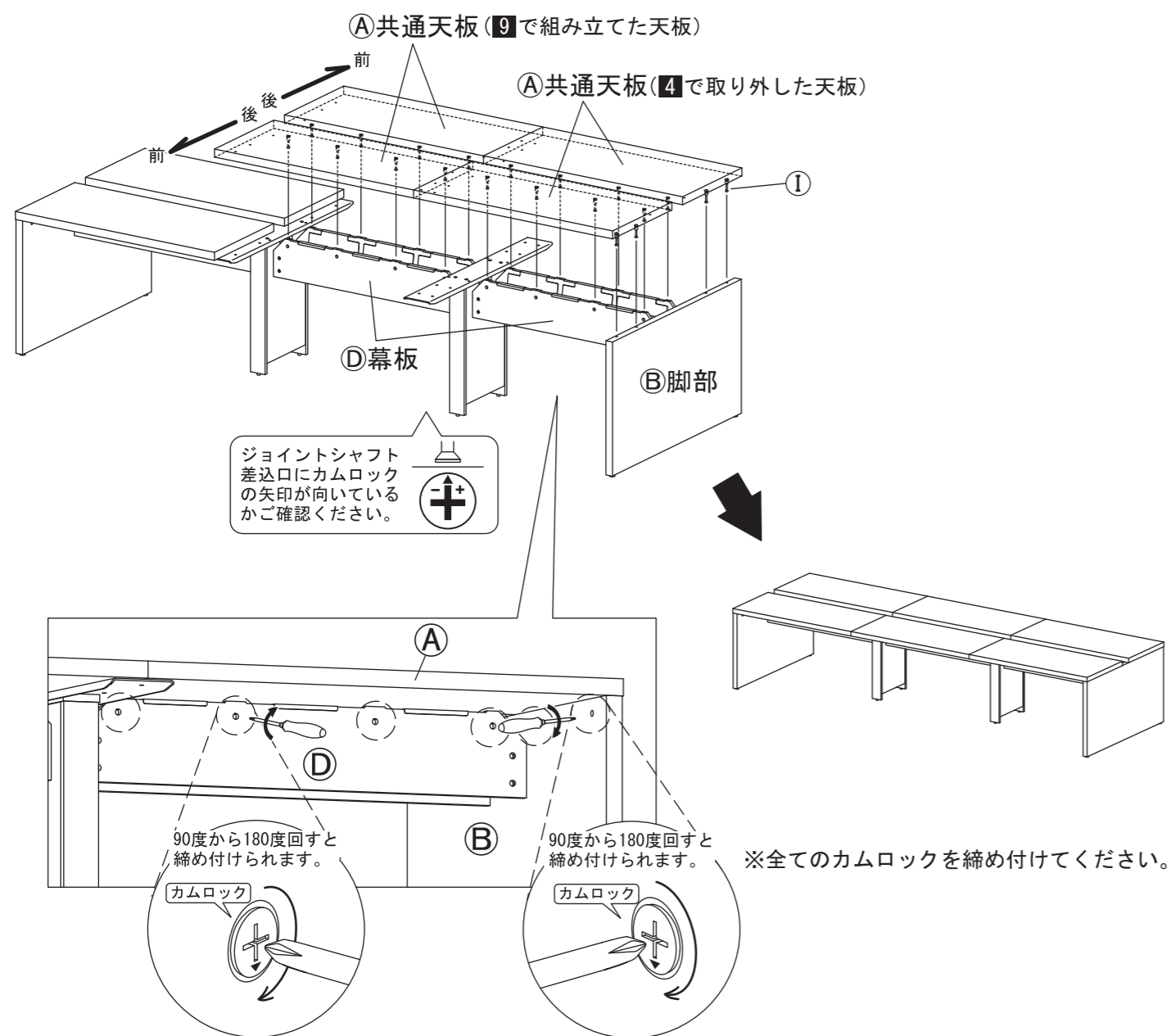
上から見た図

組み立てた製品がまっすぐ組み付けられている事を確認してください。

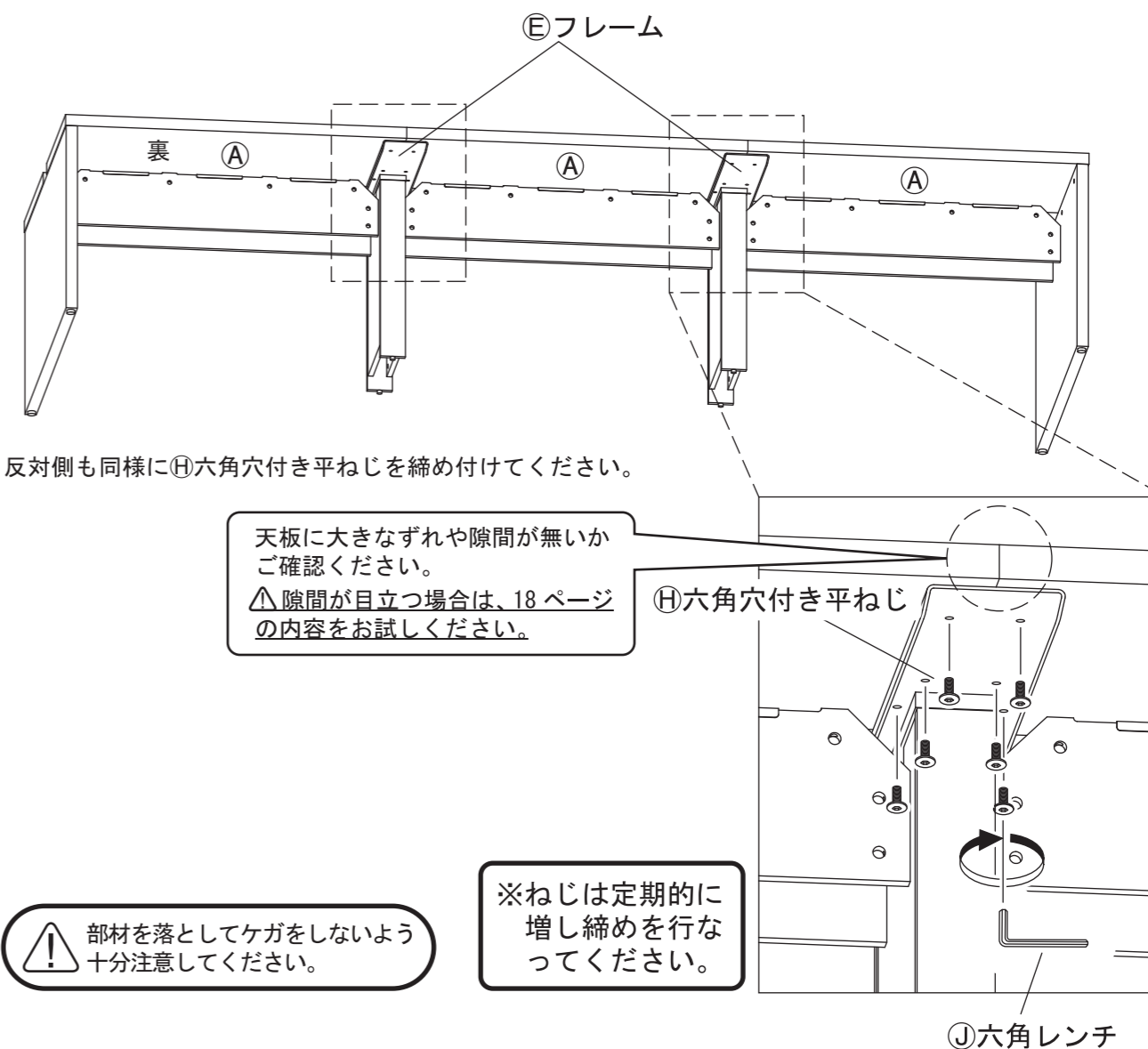
- ④共通天板に①41ジョイントシャフトを回し入れてください。
 ※ジョイントシャフト取り付け部分には、ナットが埋め込まれています。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



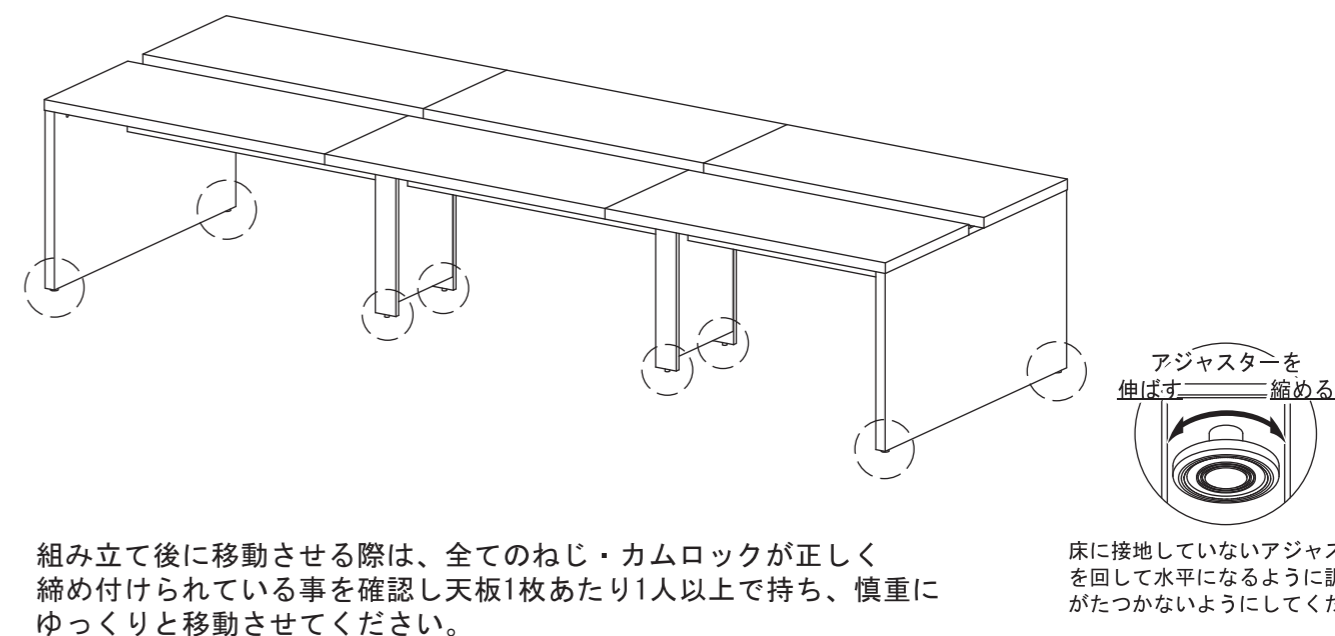
- ④で取り外した④共通天板と⑨で組み立てた④共通天板を取り付けます。
 ④共通天板を1枚ずつ二人以上で慎重に持ち上げ、取り付けられている①41ジョイントシャフトを
 ③脚部・④幕板の横穴に差し込んでください。その後、③脚部・④幕板のカムロックを回して締め付けてください。
 ■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



- ④共通天板と⑤フレームを固定します。
 ④共通天板の裏側から、⑥六角レンチを使って⑦六角穴付き平ねじを締め付けてください。

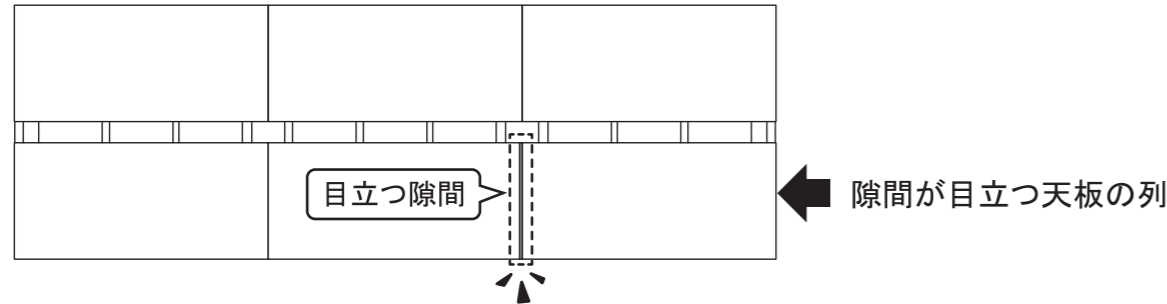


- ④共通天板が床と水平になるよう、アジャスターを回して調整してください。

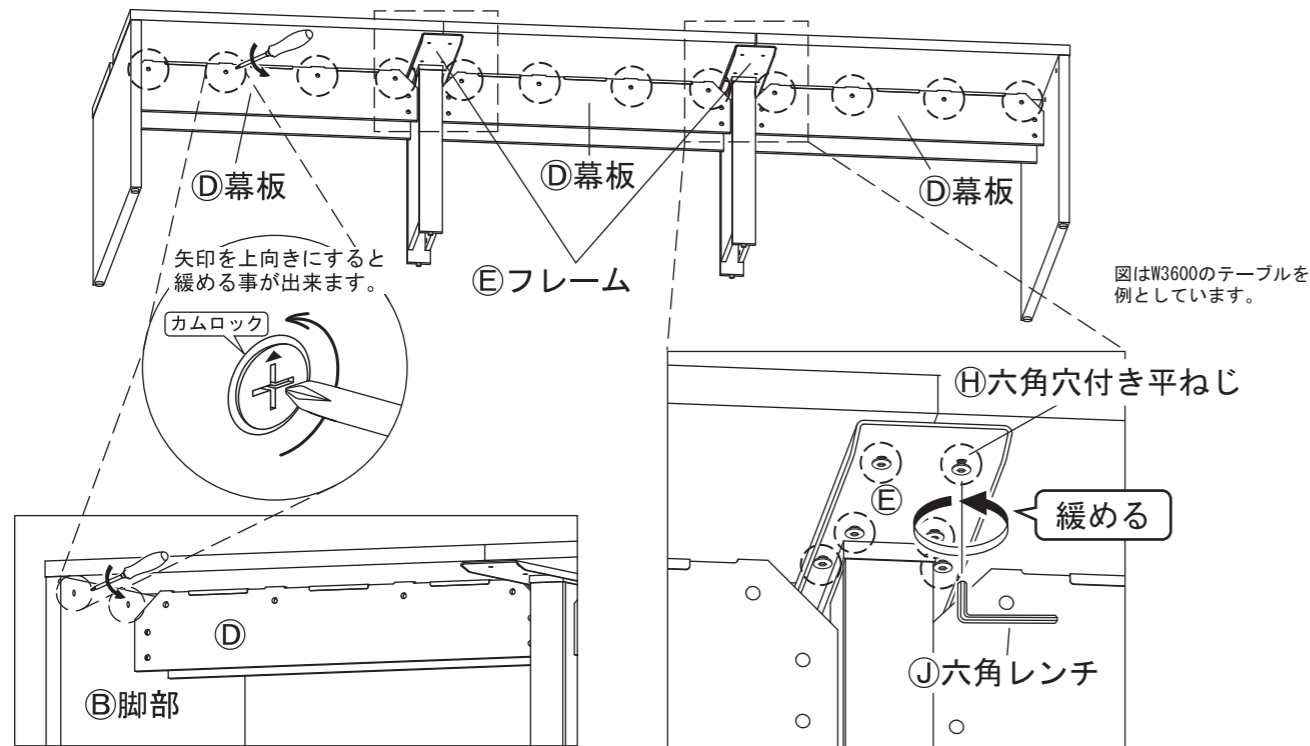


⚠ 連結時、天板同士の間隙が目立つ場合にお試ください。

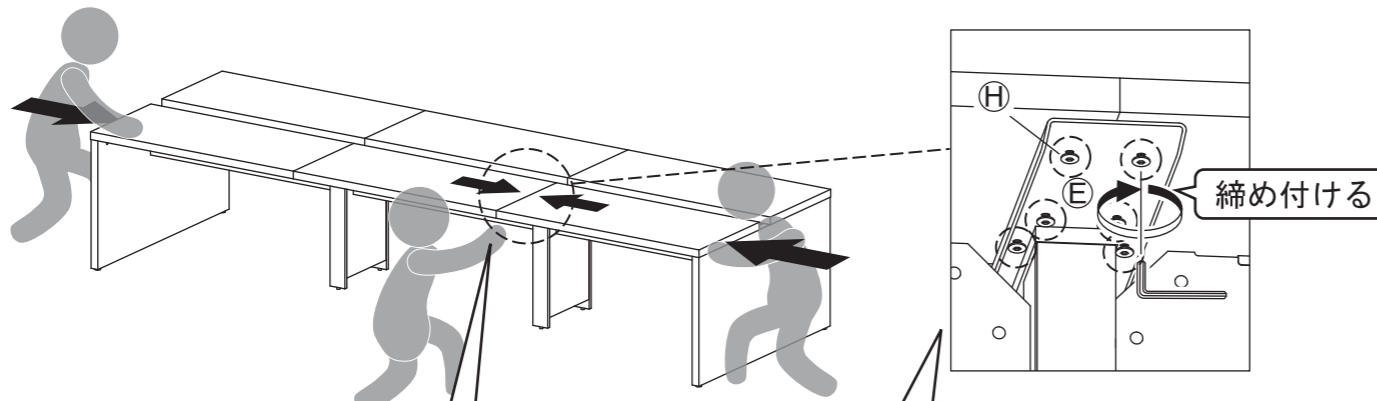
この作業は3人以上での作業を推奨しています。



1 隙間が目立つ天板の列の裏側を確認し、天板と連結している①幕板・②脚部のカムロックを回して緩めてください。その後、③六角レンチを使って④フレームに締め付けられている⑤六角穴付き平ねじを緩めてください。



2 隙間が目立つ天板の列の両端から、天板の側面を内側へ押し込み、隙間が目立たなくなる事を確認してください。その間に、もう一人が**1**で緩めた④フレームに取り付けられている⑤六角穴付き平ねじを全て締め付けます。その後、**1**で緩めた①幕板・②脚部の全てのカムロックを回して締め付けてください。



隙間が目立たなくなる事を確認した後、天板を内側に押し込んでいる間に⑤六角穴付き平ねじを締め付けてください。

⚠ 取扱上の注意

ご使用前にこの取扱上の注意をお読みになり正しくお使いください。またお読みになった後は、大切に保管してください。

- 安全のために必ずお守りください
- 積み重ねて保管しないでください。倒れてケガをすることがあります。
 - 外周部に片寄って重いものを載せないでください。倒れてケガをすることがあります。
 - 火気の側に近づけて設置しないでください。火災の原因となります。
 - 耐荷重以上のものを載せないでください。破損の原因となります。
 - 各部のねじ類が緩んだ状態で使用しないでください。破損や転倒することがあります。
 - 異常を発見したらそのまま使用せず、販売元に相談してください。破損や倒れてケガをすることがあります。
 - 商品に乗りたり腰をかけたたりしないでください。倒れてケガをすることがあります。
 - 用途以外には絶対に使用しないでください。思わぬ事故が発生することがあります。
 - 分解や改造をしないでください。破損やケガをすることがあります。
 - 傾斜のない平らな場所へ設置してください。
 - 物を載せたまま移動しないでください。破損やケガをすることがあります。
 - 安全上、構造上の理由により仕様を予告なく変更する場合があります。
 - 商品を移動させる際は、二人以上でゆっくり行ってください。段差などで破損する場合があります。
 - ご使用前にアジャスターを床に合わせて高さ調節してください。アジャスターの調整時は手や足を挟まないように気をつけてください。
 - この表示を無視して誤った取扱いをしますと、死亡又は重傷を負ったり、傷害または物的損害が発生する場合があります。その場合の責任は負いかねますのでご了承頂きますようお願いいたします。

組み立て方やお手入れに困ったら
アールエフヤマカワ お客様相談室



- 使用上の注意
- ▲直射日光・暖房器具などの高熱を避けてください。変色・変形することがあります。
 - ▲湿気の多いところに設置しないでください。腐食・変色・変形することがあります。
 - ▲板面に硬いものを落としたり、ぶつたりしないでください。破損することがあります。
 - ▲加熱した鍋やヤカンなどを直接置かないでください。
 - ▲屋外や水がかかるような場所でのご使用は避けてください。変色・変形することがあります。
 - ▲液体物が付着した場合は、放置せずすみやかに拭き取ってください。化粧面が変色、変形する場合があります。
 - ▲ご使用の環境により、床面にアジャスター・キャスター等の商品接触による変色や跡が付くことがあります。特にフローリングやクッションフロアでご使用の際はご注意ください。

- お手入れ方法
- ◆汚れを落とす場合は、から拭きするか固く絞った濡れぞうきんで拭いてください。
 - ◆汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とし、固く絞った濡れぞうきんで拭き取り、そのあと乾燥した布で水分を十分拭き取ってください。
 - ◆シンナー等の使用は避けてください。変色・変形の原因となり、塗装が剥がれる場合があります。
 - ◆ねじ類は必ず増し締めをしてください。

＜品質表示＞

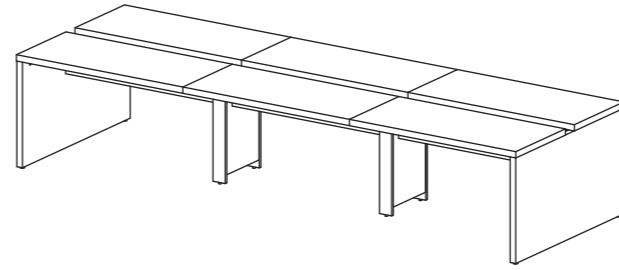
外形寸法 (mm)	幅	奥行き	高さ
基本			
RFFT(2)-(W, D) 1012 (12) WH (OA, BK) -T (CB, L, ML)	2000	1200	720
RFFT(2)-(W, D) 1014 (14) WH (OA, BK) -T (CB, L, ML)	2000	1400	720
RFFT(2)-(W, D) 1212 (12) WH (OA, BK) -T (CB, L, ML)	2400	1200	720
RFFT(2)-(W, D) 1214 (14) WH (OA, BK) -T (CB, L, ML)	2400	1400	720
RFFT(2)-(W, D) 1412 (12) WH (OA, BK) -T (CB, L, ML)	2800	1200	720
RFFT(2)-(W, D) 1414 (14) WH (OA, BK) -T (CB, L, ML)	2800	1400	720
増速 1台分			
RFFT(2)-(W, D) 1012 (12) (AD) WH (OA, BK) -T (CB, ML)	基本+1000	1200	720
RFFT(2)-(W, D) 1014 (14) (AD) WH (OA, BK) -T (CB, ML)	基本+1000	1400	720
RFFT(2)-(W, D) 1212 (12) (AD) WH (OA, BK) -T (CB, ML)	基本+1200	1200	720
RFFT(2)-(W, D) 1214 (14) (AD) WH (OA, BK) -T (CB, ML)	基本+1200	1400	720
RFFT(2)-(W, D) 1412 (12) (AD) WH (OA, BK) -T (CB, ML)	基本+1400	1200	720
RFFT(2)-(W, D) 1414 (14) (AD) WH (OA, BK) -T (CB, ML)	基本+1400	1400	720
耐荷重 (均等荷重)			
天板 1枚当たり		約 40 kg	
材質			
甲板の表面材・脚部		合成樹脂化粧繊維板 (メラミン樹脂)	
フレーム		金属 (鋼)	
アール・エフ・ヤマカワ株式会社 ☎0120-204-208			

⚠ 商品チェック

当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全に永くお使い頂くために、お客様ご自身の製品チェックにご協力をお願い致します。

不良により返品や交換をご希望される場合は、問題箇所とお客情報をご記入の上 FAX 頂くか、お電話にて弊社お客様相談室までお問い合わせください。

- ☑ チェック項目
- 品質向上にご協力いただきありがとうございます。安全にお使いいただくため、下記項目は定期的にご確認ください。
- 本体に破損や変色・変形は見当たらないか
…異常を発見した場合はお問い合わせください。
 - カムロックは正常に締め付けられているか
…別項「カムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
 - 隙間やグラつきはないか
…全てのねじがしっかりと締め付けられているかご確認ください。
ねじにゆるみがないよう、定期的に増し締めしてください。
 - 完成図との相違は見当たらないか
…安全にお使い頂くため、取扱上の注意は必ずお守りください。



その他問題事項があった場合、枠内へのご記入をお願い致します。

ご協力いただきありがとうございました。

月曜日-金曜日(祝日を除く)
AM9:00~PM5:00
アール・エフ・ヤマカワ株式会社
お客様相談室

☎0120-204-208
FAX 059-256-5333

申込番号	
品名	ソリッド フリーアドレス用デスクⅡ
商品番号	
お買上日	年 月 日
お買上サイト名	

ご氏名	
お電話番号	
FAX番号	